P3NK-2582-02Z0

IPアクセスルータ

Si-R シリーズ

メッセージ集 V33

FUJITSU

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
インターネットやLANをさらに活用するために、本装置をご利用ください。

2007年 7月初版
2007年11月第2版

本書の構成と使いかた

本書は、本装置のシステムログメッセージについて説明しています。
また、CD-ROMの中のREADMEファイルには大切な情報が記載されていますので、併せてお読みください。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。
本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。

本書の構成

本書では、システムログメッセージを説明しています。

マークについて

【メッセージ】　メッセージを記載しています。
【プライオリティ】　システムログのレベルを記載しています。
【意味】　各メッセージの意味を記載しています。
【パラメタの意味】　各パラメタの意味を記載しています。

本書における商標の表記について

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品名の略称について

本書で使用している製品名は、以下のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows® XP Professional operating system	Windows® XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system	
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system	Windows® Me
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows® 98
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows® 95
Microsoft® Windows® 2000 Server Network operating system	Windows® 2000
Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system	
Microsoft® Windows NT® Server network operating system Version 4.0	Windows NT® 4.0
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	Windows Server® 2003
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Datacenter Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Web Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition for Itanium-based systems	
Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Datacenter x64 Edition	
Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system	Windows Vista®
Microsoft® Windows Vista® Business operating system	
Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system	
Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system	
Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system	

本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
Si-R 効率化運用ツール使用手引書	Si-R 効率化運用ツールを使用する方法を説明しています。
Si-R180　ご利用にあたって	Si-R180 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R180B　ご利用にあたって	Si-R180B の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R220B　ご利用にあたって	Si-R220B の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R220C　ご利用にあたって	Si-R220C の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R240　ご利用にあたって	Si-R240 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R240B　ご利用にあたって	Si-R240B の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R260B　ご利用にあたって	Si-R260B の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R370　ご利用にあたって	Si-R370 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R570　ご利用にあたって	Si-R570 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R シリーズ　機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
Si-R シリーズ　トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
Si-R シリーズ　メッセージ集（本書）	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
Si-R シリーズ　仕様一覧	本装置のハード／ソフトウェア仕様と MIB/Trap 一覧を説明しています。
Si-R シリーズ　コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
Si-R シリーズ　コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
Si-R シリーズ　コマンドリファレンス -構成定義編-	構成定義コマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
Si-R シリーズ　コマンドリファレンス -運用管理編-	運用管理コマンド、その他のコマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
Si-R シリーズ　Web ユーザーズガイド	Web 画面を使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
Si-R シリーズ　Web 設定事例集	Web 画面を使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
Si-R シリーズ　Web リファレンス	Web 画面の項目の詳細な情報を説明しています。

目　次

第 1 章　システムログ情報一覧

パラメタの意味に表示される<slot> は、装置のスロット番号を示しています。
表示内容とその意味は、以下のとおりです。

mb	標準搭載インタフェース (基本ボード)
00	slot 0
01	slot 1
02	slot 2
03	slot 3

1.1　システムのメッセージ

1.1.1　システム起動

【メッセージ】

```
init: system startup now.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

システムが起動したことを示します。

1.2 ルーティングマネージャのメッセージ

1.2.1 ルーティングテーブルオーバフロー

【メッセージ】

```
nsm: routing table overflow. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.2 スタティック経路の優先度矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradic-
tory. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

優先度が 0 の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度 0 の経路を含むことはできません。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.3　スタティック経路の ECMP 数オーバ

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of ECMP routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路の追加時に、該当経路の ECMP 数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.4　ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the metric is contradic-
tory. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メトリックの異なる経路を ECMP 経路として登録しようとしたため、あらたな経路を破棄したことを示します。
同じあて先に複数の経路を ECMP 経路として登録する場合、メトリックが同じである必要があります。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.5 スタティックエントリ数オーバフロー

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of static routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路を追加しようとした場合に、スタティック経路のエントリ数が最大値に達していたため破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.6 経路再登録の中断

【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv4 route was interrupted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 経路情報の再登録処理を中断しました。

1.2.7 IP アドレスの割り当て

【メッセージ】

```
nsm: <address> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 DHCP サーバから獲得した IP アドレスをインタフェースに割り当てたことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

IP アドレス

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.2.8　IP アドレスの重複

【メッセージ】

```
nsm: <address> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, be-
cause duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 DHCP サーバから獲得した IP アドレスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

IP アドレス

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.3 RIP のメッセージ

1.3.1 パケット長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<length> RIP パケットのパケット長

1.3.2 バージョン異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 0 であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<version>

RIP パケットの RIP バージョン番号

1.3.3　送信元ポート 番号異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<port>　RIP パケットの送信元ポート番号

1.3.4　送信元 IP アドレス異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスが本装置のセカンダリアドレスが属しているネットワークであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

1.3.5 アドレスファミリ異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid address-
family(<family>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のアドレスファミリが AF_INET でないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<family>

RIP パケットで受信したアドレスファミリ

1.3.6 経路情報あて先異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid ad-
dress (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先がブロードキャストアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask>　RIP パケットで受信したマスク長

<metric>　RIP パケットで受信したメトリック

1.3.7　マスク長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): in-
valid mask (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先が、マスク長の範囲を超えていることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask>　RIP パケットで受信したマスク長

<metric>　RIP パケットで受信したメトリック

1.3.8　メトリック異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid met-
ric (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である。または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask> RIP パケットで受信したマスク長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.3.9 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (RIP パケット受信)

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask> 破棄された経路情報のマスク長

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

1.3.10 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (再配布経路受信)

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> redis-
tribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask>　破棄された経路情報のマスク長

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.3.11　インタフェース経路情報オーバフロー

【メッセージ】

```
ripd: connected route overflow. <address>/<mask>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布されたインタフェース経路情報が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask>　破棄された経路情報のマスク長

1.4 BGP4 のメッセージ

1.4.1 マーカフィールド 異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/1 (Message Header Er-
ror/Connection Not Synchronized.)  <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当なマーカーフィールドを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.2 メッセージ長異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/2 (Message Header Error/Bad Mes-
sage Length.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

規定長範囲外のメッセージ長のメッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.3　メッセージタイプ異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/3 (Message Header Error/Bad Mes-
sage Type.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外のメッセージタイプを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.4　メッセージヘッダ異常サブエラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 1/<subcode> (Message Header Er-
ror/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メッセージヘッダ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.5 バージョン異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/1 (OPEN Message Er-
ror/Unsupported Version Number.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外の BGP バージョンのメッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.6 AS 番号異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/2 (OPEN Message Er-
ror/Bad Peer AS.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定外の AS 番号または自側と同じ AS 番号を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.7　BGP-ID 異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/3 (OPEN Message Er-
ror/Bad BGP Identifier.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な BGP-ID を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.8　サポート外オプション

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/4 (OPEN Message Er-
ror/Unsupported Optional Parameter.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外のオプションを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.9 認証異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/5 (OPEN Message Er-
ror/Authentication Failure.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.10 HOLD 時間受け入れ不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/6 (OPEN Message Er-
ror/Unacceptable Hold Time.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受け入れ不可な HOLD 時間を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.11　ケイパビリティ受け入れ不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/7 (OPEN Message Er-
ror/Unsupported Capability.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受け入れ不可なケイパビリティを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.12　OPEN メッセージ異常サブエラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 2/<subcode> (OPEN Mes-
sage Header Error/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OPEN メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.13 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/1 (UPDATE Message Er-
ror/Malformed Attribute List)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した属性の処理中に異常が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.14 サポート外既知属性

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/2 (UPDATE Message Er-
ror/Unrecognized Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外の属性を既知属性として受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.15　既知属性の消失

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/3 (UPDATE Message Er-
ror/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

UPDATE メッセージを受信しましたが、必要な属性がすべてそろいませんでした。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.16　属性フラグ異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/4 (UPDATE Message Er-
ror/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無効な属性フラグを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.17 属性長異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/5 (UPDATE Message Er-
ror/Attribute Length Error.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の属性長を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.18 ORIGIN 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/6 (UPDATE Message Er-
ror/Invalid ORIGIN Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の ORIGIN 属性を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.19　メッセージループ

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/7 (UPDATE Message Error/AS Rout-
ing Loop.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側で経路情報を通知するメッセージが AS 間でループしていることを検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.20　NEXT-HOP 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/8 (UPDATE Message Er-
ror/Invalid NEXT_HOP Attribute.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の NEXT-HOP 属性を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.21　オプション属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/9 (UPDATE Message Er-
ror/Optional Attribute Error.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側で不当なオプション属性を受信し、自側にその異常を通知したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.22 不当経路情報

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/10 (UPDATE Message Er-
ror/Invalid Network Field.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の経路情報を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.23 不当 AS_PATH

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/11 (UPDATE Message Er-
ror/Malformed AS_PATH.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の AS_PATH を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.24　UPDATE メッセージ異常サブエラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/<subcode> (UPDATE Mes-
sage Header Error/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

UPDATE メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.25　HOLD 時間満了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 4/0 (Hold Timer Expired) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側との無通信状態がネゴシエーションした結果の HOLD 時間を経過したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.26 内部状態矛盾

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 5/0 (Finite State Machine Er-
ror) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

bgpd 内部の状態に矛盾が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.27 BGP セッション終了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 6/0 (Cease) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP のセッションを終了したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で BGP のセッションを終了したことを示します。
“ sending ”は自側で BGP のセッションを終了したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.28　エラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION <code>/<subcode> (Unrecognized Er-
ror Code/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

NOTIFICATION を受信し、エラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<code>　エラーコード

<subcode>

サブエラーコード

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.29　設定外装置からの接続受信

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP connection IP address is not configured
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定されていない装置から接続要求を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

接続要求を行った装置の IP アドレス

1.4.30 BGP ルーティングテーブルオーバフロー (UPDATE パケット受信)

【メッセージ】

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<address>

経路情報を送信した相手装置の IP アドレス

1.4.31 BGP ルーティングテーブルオーバフロー (再配布経路受信)

【メッセージ】

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.4.32　BGP セッション数オーバ

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP session is failed.(too many sessions)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP セッション数が最大数に達しているため、新たな BGP セッションの接続に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1.4.33　BGP グレースフルリスタート処理開始

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP started graceful-restart processing.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手装置との間でグレースフルリスタート処理を開始したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1.4.34　BGP グレースフルリスタート処理終了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP completed  graceful-restart processing.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手装置との間のグレースフルリスタート処理が完了したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1.4.35 BGP グレースフルリスタート 中断

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP stopped graceful-restart processing by the OPEN mes-
sage without restart directions.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

グレースフルリスタート処理中に、相手装置からリスタート開始指示以外の OPEN メッセージを受信したため、グレースフルリスタートの処理を中断したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1.4.36 BGP リスタート タイマ満了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP stopped graceful-restart processing by time-
out of a restart-timer.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リスタートタイマがタイムアウトしたため、相手装置との間のグレースフルリスタートの処理を中断したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1.4.37　BGP stale タイマ満了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP deleted stale routes received from neighbor by time-
out of a stale-timer.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手装置との間の stale タイマがタイムアウトしたため、相手装置から受信していた stale 経路を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1.5 OSPF のメッセージ

1.5.1 エリア ID 不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> in-
valid Area ID <area_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

<area_id>

受信した OSPF メッセージヘッダに設定されているエリア ID

1.5.2 認証方式不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> au-
thentication type mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている認証方式が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.5.3　テキスト認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> au-
thentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているテキスト認証鍵または MD5 認証鍵 ID が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.5.4　MD5 認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <inter-
face>:<address>: ospf_read from <router_id> md5 authentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている MD5 認証鍵が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.5.5 ネットワークマスク長不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> NetworkMask mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置でインタフェースに設定されたマスク長が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.6 Hello パケット送信間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> HelloInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で Hello パケット送信間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.7　隣接ルータ停止確認間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> RouterDeadInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.8　エリアタイプの不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> option mismatch: my op-
tions: <my_option>, his options <his_option>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

<my_option>

自装置に設定されているエリアタイプを以下に示します。

"**2 transit**"

transit エリア

"**0 stub**"　stub エリア

"**8 nssa**"　準 stub エリア (nssa)

"**nnn unknown**"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

<his_option>

router_id で示されるルータに設定されているエリアタイプを以下に示します。

"**2 transit**"

transit エリア

"**0 stub**"　stub エリア

"**8 nssa**"　準 stub エリア (nssa)

"**nnn unknown**"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

1.5.9　LSA 最大数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[LS-Upd]: From <router_id> LSDB overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LSDB で、LSA 最大数を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

LSA 送信元ルータ ID

ルータ ID が自装置ルータ ID の場合、再配布経路を示します。

1.5.10　ルータ ID の重複

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: router-id <router_id> duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.11　MTU 値の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[DD]: From <router_id> <interface>:<address> MTU mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

1.5.12　SPF 計算テーブル数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Area ID <area_id>: SPF calculation table overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<area_id>

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたエリア ID

1.5.13 OSPF 作業メモリオーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Temporary memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF ルーティングで使用する作業メモリが許容範囲を超えたために経路情報の一部を破棄したことを示します。

1.5.14 受信可能サイズを超えたパケットの破棄

【メッセージ】

```
ospfd: RECV: packet from <address> ignored. (size too big)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<address> で示すアドレスから、受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

パケットの送信元 IP アドレス

1.5.15 隣接関係異常

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address> : neighbor <router_id> down detec-
tion. (<old_state> -> Down)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF 隣接ルータ停止確認間隔 (dead interval) の間に Hello パケットを受信できず、隣接ルータとの OSPF 隣接関係が失われたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

自装置のインタフェース名
バーチャルリンク接続では VLINK と表示されます。

<address>

自装置のインタフェースのアド レス

<router_id>

隣接ルータ ID

<old_state>

隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態
Full,Loading,Exchange,ExStart,2-Way のどれかの状態が表示されます。

1.5.16　connected 経路オーバフロー

【メッセージ】

```
ospfd: connected route overflow. <route>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布された connected 経路数が上限値に達しているため、新たな connected 経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した connected 経路情報

1.6　ルーティングマネージャのメッセージ (IPv6)

1.6.1　ルーティングテーブルオーバフロー

【メッセージ】

```
nsm: IPv6 routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.6.2　IPv6 プレフィックスの割り当て

【メッセージ】

```
nsm: <prefix>/<prefixlen> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した IPv6 プレフィックスをインタフェースに割り当てたことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.6.3　IPv6 プレフィックスの重複

【メッセージ】

```
nsm: <prefix/prefixlen> cannot be assigned to <interface> from <proto-
col>, because  duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した IPv6 プレフィックスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.6.4　IPv6 スタティック経路の優先度矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradic-
tory. <prefix/prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

優先度が 0 の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度 0 の経路を含むことはできません。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.6.5 IPv6 スタティック経路の ECMP 不可

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of ECMP routes has reached maximum. <pre-
fix/prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

イコールコストとなる経路がすでに存在しているため、新たに追加しようとしたスタティック経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.6.6 IPv6 スタティックエントリ数オーバフロー

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of static routes has reached maximum. <pre-
fix/prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路を追加しようとした場合に、スタティック経路のエントリ数が最大値に達していたため破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.6.7　経路再登録の中断

【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv6 route was interrupted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 経路情報の再登録処理を中断しました。

1.7 RIP のメッセージ (IPv6)

1.7.1 パケット長異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): in-
valid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<length> RIP パケットのパケット長

1.7.2 バージョン異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 1 でないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<version>

RIP パケットの RIP バージョン番号

1.7.3　送信元ポート番号異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名

<port>　RIP パケットの送信元ポート番号

1.7.4　送信元 IP アドレス異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスがリンクローカルアドレスではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名

1.7.5　ホップリミット異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid hoplimit(<hoplimit>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) のホップリミットが、255 ではないことをを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<hoplimit>

RIP パケットのホップリミット

1.7.6 経路情報プレフィックス異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid pre-
fix (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックスがマルチキャストアドレス、またはリンクローカルアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix> RIP パケットで受信したプレフィクス

<prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィクス長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.7.7　プレフィックス長異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid pre-
fixlen (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックス長が 128 よりも長いことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix>　RIP パケットで受信したプレフィクス

<prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィクス長

<metric>　RIP パケットで受信したメトリック

1.7.8　メトリック異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid met-
ric (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である。または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix> RIP パケットで受信したプレフィクス

<prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィクス長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.7.9 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (REQUEST パケット受信)

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix> 破棄された経路情報のプレフィクス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィクス長

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

1.7.10 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (再配布経路受信)

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> redis-
tribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>　破棄された経路情報のプレフィクス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィクス長

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.7.11　インタフェース経路情報オーバフロー

【メッセージ】

```
rip6d: connected route overflow. <prefix>/<prefixlen>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布されたインタフェース経路情報数が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>　破棄された経路情報のプレフィクス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィクス長

1.8 OSPF のメッセージ (IPv6) (Si-R180B, Si-R220C, Si-R240B,Si-R570)

1.8.1 エリア ID 不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV: From <router_id> <interface>: invalid Area ID <area_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

<area_id>

受信パケットの OSPF ヘッダに設定されているエリア ID

1.8.2 Hello パケット送信間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: HelloInter-
val mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、Hello パケット送信間隔の設定値が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

1.8.3　隣接ルータ停止確認間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: RouterDeadInter-
val mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

1.8.4　エリアタイプの不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: option mis-
match. my options: <my_option>, his options: <his_option>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっているため該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

<my_option>

自装置に設定されているエリアタイプを以下に示します。

normal : normal エリア

stub : stub エリア

<his_option>

router_id で示されるルータに設定されているエリアタイプを示します。
normal : normal エリア
stub : stub エリア
nssa : nssa エリア
unknown : 上記以外のエリアタイプ

1.8.5 LSA 最大数オーバ

【メッセージ】

```
ospf6d: LSDB overflow. type <lsa_type> adv-router <router_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

保持可能な LSA の最大数を超えたため、受信した LSA、または自装置で生成する LSA を LSDB に登録できないことを示します。

【パラメタの意味】

<lsa_type>

登録できなかった LSA のタイプ (16 進数)

<router_id>

LSA 送信元ルータ ID、または自装置のルータ ID

1.8.6 ルータ ID の重複

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: router-id duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

1.8.7　MTU 値の不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[DD]: From <router_id> <interface>: MTU mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置のインタフェースに設定されている MTU 値よりも大きいため、該当パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

1.8.8　受信可能サイズを超えたパケットの破棄

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV: packet from <interface>:<address> ignored. (size too big)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

<address>

パケットの送信元リンクアドレス

1.8.9 隣接ルータダウンの検出

【メッセージ】

```
ospf6d: interface <interface>: neighbor <router_id> down detec-
tion. (<old_state>->Down)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id>で示す隣接ルータとの関係が、ダウンとみなされる状態に遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

自装置のインタフェース名

<router_id>

隣接ルータ ID

<old_state>

隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態。

Full,Loading,Exchage,ExStart,2-Way のどれかの状態が表示されます。

1.8.10 LSA 最大数オーバ (再配布経路受信時)

【メッセージ】

```
ospf6d: LSDB overflow. <route> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

保持可能な LSA の最大数を超えたため、受信した再配布経路に関する LSA を LSDB に登録できないことを示します。

【パラメタの意味】

<router>

破棄した経路情報

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.8.11　IPv6 OSPF 定義無効

【メッセージ】

```
ospf6d: IPv6 OSPF is disable.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 OSPF を使用できる条件を満たしていないため、機能が無効となったことを示します。
このメッセージは、Si-R570 で拡張用 512M メモリモジュールが搭載されていない場合にだけ出力されます。

1.9 LDP のメッセージ

1.9.1 セッションリミッタ

【メッセージ】

```
ldpd: Session limit over(<number>), Clearing up adja-
cency for <adjacency>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

セッション最大数を超えたため、超えたセッションに対応する adjacency を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

セッション最大数

<adjacency>

相手 LSR の IP アドレス

1.9.2 FEC テーブルリミッタ

【メッセージ】

```
ldpd: FEC table limit over(<number>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

これ以上、FEC のテーブルを追加できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

FEC テーブル最大数

1.9.3 Hello Packet のバージョンの不一致

【メッセージ】

```
ldpd: Version mismatch found in Hello packet received from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

異なるバージョンの Hello Packet を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.9.4　Hello Packet の LDP-ID の重複

【メッセージ】

```
ldpd: LDP ID sent by peer <address> is the same as the LDP ID
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の LDP-ID と重複する Hello Packet を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.9.5　Hello Packet の LDP-ID の不一致

【メッセージ】

```
ldpd: LDP ID mismatch: Cleaning up adjacency for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

異なる LDP-ID の Hello Packet を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.9.6 Hello Packet の IPv4 Transport Address の不一致

【メッセージ】

```
ldpd: ipv4_trans_addr mismatch: Cleaning up adjacency for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

異なる IPv4 Transport Adderss の Hello Packet を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.9.7 Initialization Message のバージョンの不一致

【メッセージ】

```
ldpd: Version mismatch with peer <address>. Cleaning up session
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

異なるバージョンの Initialization Message を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.9.8 LDP ID の重複

【メッセージ】

```
ldpd: LDP ID in Init message does not match local LDP ID for <router_id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した Initialization Message の LDP-ID が自装置の LDP-ID と一致しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

LDP-ID

1.9.9　LDP セッションの運用可能状態への遷移

【メッセージ】

```
ldpd: LDP session shifted to OPERATIONAL for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LDP セッション状態が運用可能な状態まで遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.9.10　Error Notification の受信

【メッセージ】

```
ldpd: Error Notification message (code = <code>) received from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Error Notification メッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<code>　ステータスコード

詳細はステータスコード一覧に記載

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.9.11 Error Notification の送信

【メッセージ】

```
ldpd: Error Notification message (code = <code>) sent to <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Error Notification メッセージを送信したことを示します。

【パラメタの意味】

<code> ステータスコード

詳細はステータスコード一覧に記載

<address>

相手 LSR の IP アドレス

［LDP Error Notification メッセージで利用されるステータスコード一覧］

RFC3036 での表記	Status Code	状態の意味
Bad LDP Identifier	0x00000001	LDP-IDの不良
Bad Protocol Version	0x00000002	LDP プロトコルバージョンの不良
Bad PDU Length	0x00000003	PDU長の不良
Bad Message Length	0x00000005	メッセージ長の不良
Bad TLV length	0x00000007	TLV 長の不良
Malformed TLV Value	0x00000008	TLV 値の誤形成
Hold Timer Expired	0x00000009	Hello タイマの満了
Shutdown	0x0000000a	シャットダウン(セッション強制切断)
Session Rejected/No Hello	0x00000010	セッション拒否(Hello 近隣がない)
Session Rejected/ Parameters Advertisement Mode	0x00000011	セッション拒否 (AdvertisementMode受け入れ不可)
Session Rejected/ Parameters Max PDU Length	0x00000012	セッション拒否(最大PDU長受け入れ不可)
Session Rejected/ Parameters Label Range	0x00000013	セッション拒否(ラベル範囲受け入れ不可)
KeepAlive Timer Expired	0x00000014	キープアライブタイマの満了
Session Rejected/Bad KeepAlive Time	0x00000018	セッション拒否(キープアライブの不良)
Internal Error	0x00000019	内部エラー

注) 本装置から送信されるError Notification メッセージには利用されないコードも含まれます。

1.10　通信関連のメッセージ

1.10.1　LAN キャリア検出

【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] lan port link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Ethernet 回線について、リンクアップを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<line>　回線番号

【メッセージ】

```
protocol: [switch/<index>/<port>] ether port link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチポート上の Ethernet 回線について、リンクアップを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<index>　スイッチ定義番号

<port>　ポート番号

【メッセージ】

```
protocol: master port link recover
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチデバイスと接続されるパスが確立したことを示します。

【パラメタの意味】

パラメタはありません。

1.10.2 LAN キャリア喪失

【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] lan port link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Ethernet 回線について、リンクダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<line> 回線番号

【メッセージ】

```
protocol: [switch/<index>/<port>] ether port link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチポート上の Ethernet 回線について、リンクダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<index> スイッチ定義番号

<port> ポート番号

【メッセージ】

```
protocol: master port error detect (<reason>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチデバイスと接続されるパスでエラーを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<reason>

"link down": スイッチデバイスとのパス上でキャリア喪失を検出しました。

1.10.3　同期確立

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] line synchronization is established
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

回線の同期確立が完了したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、専用線、フレームリレー、ATM 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、専用線、フレームリレー、ATM 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット 番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

1.10.4　同期はずれ

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] line synchronization is failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

回線の同期はずれが発生したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、専用線、フレームリレー、ATM 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、専用線、フレームリレー、ATM 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

1.10.5 フラグ検出

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] wan <number> flag pattern detected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

専用線で、相手装置からのフラグを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

<number>

wan 定義番号

1.10.6 フラグ検出失敗

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] wan <number> flag pattern lost
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

専用線で、相手装置からのフラグを検出できなくなったことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[<slot>/<line>]
<slot>：スロット番号
<line>：回線番号

<number>

wan 定義番号

1.10.7　回線接続

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] connected <ch> to <target>(<dial>) by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信により相手システムと接続したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]
<slot>：スロット番号
<line>：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]
<no>：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com/<no>]
<no>：利用した serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

PPPoE、モデム、データ通信カード の場合

-

<target> ネットワーク名. 接続先名

<dial> 接続ダイヤル番号 (ISDN 回線、モデム、データ通信カード の場合だけ表示)

<reason>

発信契機

forwarding packet

フォワード パケット

ProxyDNS

ProxyDNS

MP MP(ISDN 回線の場合だけ)

manual 手動接続

keep connection

回線接続保持機能 (常時接続) による接続 (ISDN 回線または PPPoE の場合だけ表示)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] connected <ch> from <target>(<dial>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信により相手システムと接続したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

モデム、データ通信カード の場合

-

<target>　ネットワーク名. 接続先名
(テンプレート着信の場合は テンプレート名. 接続ユーザ ID)

<dial>　相手電話番号

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> is decided as <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<ch> で着信した相手が認証により<target> と判明したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]
<slot> ：スロット番号
<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]
<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

モデム、データ通信カード の場合

-

<target>　ネットワーク名. 接続先名
(テンプレート着信の場合は テンプレート名. 接続ユーザ ID)

1.10.8　回線切断

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected <ch> to <tar-
get> : charge=<charge> time=<time> [<reason>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自側より回線切断を行い、回線が切断されたことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カード の場合に出力されます。ISDN 回線の場合だけ「charge=<charge>」が表示されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

PPPoE、モデム、データ通信カード の場合

-

<target> ネットワーク名. 接続先名 (テンプレート着信の場合は テンプレート名. 接続ユーザ ID)

<charge>

通話料金 (円単位)

※ ISDN 回線で網から通知があった場合

<time> 接続時間 (dddd.hh:mm:ss の形式)

<reason>

切断理由 (テンプレート着信の場合だけ表示)

リモート IP アド レス重複

same ip remote address exist(<address>)

<address> ：リモート IP アド レス

IPv6 プレフィックス重複

same ip6 prefix exist(<prefix> / <prefixlen>)

<prefix> / <prefixlen>：IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

同一ユーザ接続済

same user already connected(<user>)

<user> ：ユーザ ID

経路追加失敗

cannot add route(<route>)

<route> ：追加できなかった経路

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected <ch> from <tar-
get> : charge=<charge> time=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側または網から回線切断が通知され、回線が切断されたことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カード の場合に出力されます。ISDN 回線の場合だけ「charge=<charge>」が表示されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

PPPoE、モデム、データ通信カード の場合

-

<target>　ネットワーク名. 接続先名
(テンプレート着信の場合は テンプレート名. 接続ユーザ ID)

<charge>

通話料金 (円単位)
※ ISDN 回線で網から通知があった場合

<time>　接続時間 (dddd.hh:mm:ss の形式)

1.10.9　課金制御機能による強制切断

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] forced disconnection <target> <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

累計パケット数、または累計接続時間が上限値を超過したため、自側より回線切断を行うことを示します。このメッセージはデータ通信カードの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot>：スロット番号

<line>：回線番号

<target> ネットワーク名. 接続先名

<reason>

超過した内容。以下の情報のどちらかとなります。

total packets=<packet>

累計パケット数

total time=<day>:<hour>:<min>:<sec>

累計接続時間

1.10.10 着信拒否

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] rejected call from (<dial>) because <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信通知を拒絶したことを示します。このメッセージはISDN回線、モデム、およびデータ通信カードの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot>：スロット番号

<line>：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<dial>　相手電話番号 (モデム、データ通信カード の場合: -)

<reason>

拒否理由

permission denied

着信が許可されていなかったための拒否

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> is not decided as any defined host, but anony-
mous login is not usable
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証により着信相手判断を行おうとしたが、一致する接続先情報がなく、また不特定相手着信ができない状態であったため、切断することを示します。このメッセージは ISDN 回線、モデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

モデムの場合

-

1.10.11　自動発呼の抑止中

【メッセージ】

```
protocol: autodial locked by <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動発信が抑止中のため、自動発信処理を中止したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、データ通信カード の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name> 抑止の原因

schedule スケジュール情報による抑止

limiter 課金制限による抑止 (ISDN 回線の場合だけ)

redial 3 分間に 2 回を超える再発信のため自動発信処理を中止 (ISDN 回線、モデム、データ通信カード の場合だけ)

1.10.12 着信抑止

【メッセージ】

```
protocol: callin rejected by <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信が抑止中により、着信処理を中止したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<name> 抑止の原因

schedule スケジュール情報による抑止

1.10.13 課金制御条件の制限超過

【メッセージ】

```
protocol: wan <number> ISDN connect limit over [<reason>]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

課金制御条件の制限を超過して発信しようとしたことを示します。このメッセージは ISDN 回線の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<number>

wan 定義番号

<reason>

超過した内容。以下の情報のどちらかとなります。

charge=<charge>yen

課金制限を超過

time=<day>:<hour>:<min>:<sec>

時間制限を超過

課金制限および時間制限の両方が超過している場合は、課金制限超過の内容が出力されます。

1.10.14　連続接続失敗による発信抑止

【メッセージ】

```
protocol: continuous PPP negotiation error <target> : call stop
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

連続して 30 回の接続に失敗 (回線は接続されるが IP 通信ができずに失敗の場合) し、発信を禁止したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カード の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.10.15　PPP ネゴシエーション失敗

【メッセージ】

```
protocol: <protocol> is closed by <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<protocol>が相手から終了させられ、そのデータ回線上で<protocol>で示されたプロトコルでの通信が行えなくなったことを示します。

【パラメタの意味】

<protocol>

終了させられたプロトコル

IPCP IPv4 用のプロトコル名

IPV6CP IPv6 用のプロトコル名

BCP ブリッジ用のプロトコル名

<target> ネットワーク名. 接続先名

1.10.16 発信失敗

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (dial busy) : de-
tail [<status>/<state>/<reason>(#<code>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手話中による発信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線モデム、およびデータ通信カード の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<status> エラーステータス

<state> 呼状態

<reason>

理由表示

<code> 理由表示番号。詳細は「1.42 ISDN 理由表示番号一覧」(P.295) を参照してください。

※モデム、およびデータ通信カード の場合、detail 以下は表示されません。

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (auth rejected)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手より認証で拒絶されたことによる発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (auth deny)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手を拒絶したことによる発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (negotiation)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPP ネゴシエーション失敗による発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (other reason) : de-
tail [<status>/<state>/<reason>(#<code>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

detail で示される理由による発信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<status>　エラーステータス

<state>　呼状態

<reason>

理由表示

<code>　理由表示番号。詳細は「1.42 ISDN 理由表示番号一覧」(P.295) を参照してください。

※モデム、およびデータ通信カード の場合、detail 以下は表示されません。

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (alert timeout)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手が呼び出し応答を行い、着信応答をしないことによる発信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線の場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[<slot>/<line>]

<slot>：スロット番号

<line>：回線番号

1.10.17　着信失敗

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (auth rejected)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手より認証で拒絶されたことによる着信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線の場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<slot>/<line>]

<slot>：スロット番号

<line>：回線番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (auth deny)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手を認証で拒絶したことによる着信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (negotiation)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPP ネゴシエーション失敗による着信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

1.10.18　回線エラー

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> disconnected by peer : de-
tail [<status>/<state>/<reason>(#<code>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

予期しないで相手から切断されたことを示します。このエラーは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

<status>　エラーステータス

<state>　呼状態

<reason>

理由表示

<code>　理由表示番号。詳細は「1.42 ISDN 理由表示番号一覧」(P.295) を参照してください。

※モデム、およびデータ通信カード の場合、detail 以降は表示されません。

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> line error : de-
tail [<status>/<state>/<reason>(#<code>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

回線エラーが発生したことを示します。このエラーは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット 番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B23ch

<status>　エラーステータス

<state>　呼状態

<reason>

理由表示

<code>　理由表示番号。詳細は「1.42 ISDN 理由表示番号一覧」(P.295) を参照してください。

※モデム、およびデータ通信カード の場合、detail 以下は表示されません。

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <target> is disconnected, because <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISDN 回線、PPPoE のセッション、モデム接続、またはデータ通信カード 接続が切断された理由を示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カード の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット 番号

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<target> ネットワーク名. 接続先名

<reason>

切断理由

no carrier

キャリアロスト検出のため (PPPoE の場合だけ)

PADT received

相手から PADT を受信したため (PPPoE の場合だけ)

keepalive expired

相手からの受信がまったくなくなったため

1.10.19 発信ログ

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by forwarding packet: <proto-
col> <sa>(<sp>)-><da>(<dp>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケット送信により発信処理を行ったことを示します (IPv4 / IPv6)。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カード の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<target>　ネットワーク名

<protocol>

発信契機となったパケットの上位プロトコル TCP / UDP / ICMP / ICMPV6 の場合は文字列で表示され、それ以外の場合は数値で表示されます。

<sa>　パケットの送信元アドレス

<sp>　パケットの送信元ポート番号 (TCP / UDP の場合だけ)

<da>　パケットのあて先アドレス

<dp>　パケットのあて先ポート番号 (TCP / UDP の場合だけ)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by bridging packet: <format>:<type>-
<sa>-><da>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケット送信により発信処理を行ったことを示します (bridge)。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カード の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<target>　ネットワーク名

<format>

パケットフォーマット

Ethernet　Ethernet 形式

LLC　LLC 形式

<type>　パケットタイプ

<sa>　パケットの送信元 MAC アドレス

<da>　パケットのあて先 MAC アドレス

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

上記以外の理由により発信処理を行ったことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カード の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カード の場合

[<slot> / <line>]

<slot> ：スロット番号

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<target> ネットワーク名

<reason>

発信理由

STP packet

発信契機が STP パケットであった場合

ProxyDNS

発信契機が ProxyDNS であった場合

1.10.20 閉塞状態への移行

【メッセージ】

```
protocol: <name> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

障害検出またはオペレータ指示によって、閉塞状態に移行したことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　ネットワーク名. 接続先名 (WAN 側の場合)
インタフェース名 (LAN 側の場合)
スイッチ定義番号とポート番号 (スイッチ側の場合)

1.10.21　認証メモリ枯渇

【メッセージ】

```
protocol: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: mem-
ory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続相手の認証で、メモリ枯渇が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

【メッセージ】

```
protocol: authentication re-
quest failed for <mac_address> on aaa <group_id>: memory alloca-
tion failed. [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAC アドレス認証で、メモリ枯渇が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>

MAC アドレス認証対象端末の MAC アドレス

<group_id>

AAA グループ ID

<no> LAN インタフェース番号

1.10.22 アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
protocol: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリが枯渇したことにより、アカウンティング開始を通知できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.10.23 アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
protocol: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: mem-
ory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリが枯渇したことにより、アカウンティング終了を通知できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.11　ATM のメッセージ

1.11.1　VP 故障検出

【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] VP(<vpi>) became inactive by fault detection
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ATM 回線で、VP 故障を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<line>　回線番号

<vpi>　VPI 値

1.11.2　VP 故障回復検出

【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] VP(<vpi>) was recovered
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ATM 回線で、VP 故障からの回復を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<line>　回線番号

<vpi>　VPI 値

1.11.3　VC 故障検出

【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] <target> (VC:<vpi>/<vci>) became inac-
tive by fault detection
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ATM 回線で、VC 故障を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<line> 回線番号

<target> 相手定義番号. 接続先定義番号

<vpi> VPI 値

<vci> VCI 値

1.11.4 VC 不達検出

【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] <target> (VC:<vpi>/<vci>) became inac-
tive by fault loopback timeout
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ATM 回線で ATM 到達性監視中に到達性異常を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<line> 回線番号

<target> 相手定義番号. 接続先定義番号

<vpi> VPI 値

<vci> VCI 値

1.11.5 VC 故障回復検出

【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] <target> (VC:<vpi>/<vci>) was recovered
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ATM 回線で、VC 故障から、または不達からの回復を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<line>　回線番号

<target>　相手定義番号. 接続先定義番号

<vpi>　VPI 値

<vci>　VCI 値

1.12 フレームリレーのメッセージ

1.12.1 CLLM メッセージ受信

【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] re-
ceived CLLM(<kind>) about <remote_name>(DLCI:<dlci>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM メッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<line> 回線番号

<kind> CLLM メッセージの種類

2 トラフィックによる軽輻輳

3 トラフィックによる重輻輳

6 装置故障 (短時間)

7 装置故障 (長時間)

10 保守動作 (短時間)

11 保守動作 (長時間)

16 原因不明の軽輻輳

17 原因不明の重輻輳

輻輳通知を受けた場合はスループットを減少させます。

装置故障通知または保守動作通知を受けた PVC をインアクティブにします。

<remote_name>

相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci> 通信内容に該当する DLCI

1.12.2 PVC 状態アクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became active
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PVC 状態確認手順のフル状態表示または単一 PVC 非同期状態表示によって PVC がアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<line>　回線番号

<remote_name>

相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci>　アクティブとなった PVC の DLCI

1.12.3　PVC 状態インアクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became inactive
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PVC 状態確認手順のフル状態表示または単一 PVC 非同期状態表示によって PVC がインアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<line>　回線番号

<remote_name>

相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci>　インアクティブとなった PVC の DLCI

1.12.4　CLLM メッセージ軽輻輳通知による PVC アクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became ac-
tive by CLLM light
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM メッセージの軽輻輳通知によって PVC がアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<line> 回線番号

<remote_name>
相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci> アクティブとなった PVC の DLCI

1.12.5 CLLM メッセージ重輻輳通知による PVC アクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became ac-
tive by CLLM serious
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM メッセージの重輻輳通知によって PVC がアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<line> 回線番号

<remote_name>
相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci> アクティブとなった PVC の DLCI

1.12.6 CLLM メッセージ装置故障通知または保守動作通知による PVC インアクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became inac-
tive by CLLM stop
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM メッセージの装置故障通知または保守動作通知によって PVC がインアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<line>　回線番号

<remote_name>

相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci>　インアクティブとなった PVC の DLCI

1.12.7　T2 タイマタイムアウトによる PVC アクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became active by T2-
timer timeout
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM 回復タイマ (T2) のタイムアウトによって PVC がアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<line>　回線番号

<remote_name>

相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci>　アクティブとなった PVC の DLCI

1.12.8　PVC 状態確認手順による回線異常検出

【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] PVC link was disconnected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PVC 状態確認手順により回線異常を検出します。
最新の 4 回の「状態問い合わせ」メッセージの送信に対し、「状態表示」メッセージ未受信または無効メッセージ受信のエラーを 3 回以上検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<line> 回線番号

1.12.9 PVC 状態確認手順による回線異常状態からの回復

【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] PVC link recover
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PVC 確認手順により検出した回線異常状態から回復した。
3 回連続して正しい「状態表示」メッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<line> 回線番号

1.13　PPPoE のメッセージ

1.13.1　PPPoE ディスカバリステージ失敗

【メッセージ】

```
protocol: [lan<no>] PPPoE Discovery failed to <target> : rea-
son=<reason> state=<state>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPPoE のディスカバリステージ (PPPoE セッションを確立するためのネゴシエーション) が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

<reason>

失敗理由

sync failed

同期はずれ

datalink config error

データリンクの設定に誤りがある

wait timeout

期待するパケットを受信できずにタイムアウトした

negotiation error

ネゴシエーションエラー

<state>　PPPoE の内部状態

Initial　初期状態

waitPADO

PADO 受信待ち

waitPADS

PADS 受信待ち

1.14 セキュリティメッセージ

1.14.1 ProxyDNS による DNS 要求破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by <no> : QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS で、破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<no> reject を行った proxydns 命令の転送先定義番号

<type> 問い合わせタイプ

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

1.14.2 ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by unknown character : QTYPE [<type>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS で、非表示文字の破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<type> 問い合わせタイプ

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

1.14.3　IP フィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IP フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　ネットワーク名 (WAN 側の場合)、インタフェース名 (LAN 側またはテンプレート着信の場合)

<no>　フィルタリング定義番号
破棄を行った IP フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当しないで、lan ip filter default、または remote ip filter default、または template ip filter default の定義に従って破棄を行った場合、“ default ”と出力されます。
特殊フィルタルールに適合した場合は、その内容が出力されます。

same address
source / destination ともに同じアドレス

tiny fragment
tiny fragment を検出

overlap fragment
overlap fragment を検出

<P>　プロトコル種別 (TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号)
TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA>　送信元 IP アドレス

<SP>　送信元ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

<DA>　あて先 IP アドレス

<DP>　あて先ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

1.14.4　PPP 着信拒否

【メッセージ】

```
protocol: rejected call from <target>(<dial>) by PPP:<reason>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

PPP ネゴシエーション中に着信を拒否したことを示します。

【パラメタの意味】

<target> ネットワーク名. 接続先名

<dial> 接続ダイヤル番号

<reason>

認証失敗理由

authentication rejected

認証利用そのものを拒否

wrong account(<id>)

不正認証情報受信 (<id>に ID 情報を出力)

1.14.5 DHCP サーバのアド レス配布

【メッセージ】

```
dhcpd: Server allocation <ip_address> to <mac_address>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

DHCP サーバが DHCP クライアントにアド レスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<ip_address>

DHCP クライアントに配布した IP アド レス

<mac_address>

DHCP クライアントの MAC アド レス

1.14.6 DHCP クライアント からの要求の拒否

【メッセージ】

```
dhcpd: DHCP request from <mac_address> rejected
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

MAC アドレスが登録されていないため、DHCP クライアントからの要求を拒否したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>

DHCP クライアントの MAC アドレス

1.14.7　IPv6 フィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <P> <SA>(<SP>) -> <DA>(<DP>)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　ネットワーク名 (WAN 側の場合)、
インタフェース名 (LAN 側またはテンプレート着信の場合)

<no>　フィルタリング定義番号
破棄を行った IPv6 フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当しないで、lan ip6 filter default、または remote ip6 filter default、または template ip6 filter default の定義に従って破棄を行った場合、“ default ”と出力されます。
特殊フィルタルールに適合した場合は、その内容が出力されます。

same address
source / destination ともに同じアドレス

tiny header
tiny header を検出

tiny fragment
tiny fragment を検出

overlap fragment
overlap fragment を検出

default restrict
デフォルトフィルタに適合

<P>　プロトコル種別 (TCP,UDP,ICMPV6, その他は番号) TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA>　送信元 IPv6 アドレス

<SP>　送信元ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

<DA>　あて先 IPv6 アドレス

<DP>　あて先ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

1.14.8 NAT によるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at NAT(<name>.<reason>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

NAT で、変換テーブルがなかったことにより破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name> ネットワーク名

<reason>

破棄理由
特殊フィルタルールに適合した場合は、その内容が出力されます。

tiny fragment

tiny fragment を検出

overlap fragment

overlap fragment を検出

<P> プロトコル種別 (TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号)
TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA> 送信元 IP アドレス

<SP> 送信元ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

<DA> あて先 IP アドレス

<DP> あて先ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

1.14.9 NAT 変換テーブル作成

【メッセージ】

```
protocol: NAT:table: <P> <SA> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

NAT で、パケット転送にともない、変換テーブルを作成したことを示します。

【パラメタの意味】

<P>　プロトコル種別 (TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号)
基本 NAT によるテーブル作成の場合は、ALL と出力されます。

<SA>　送信元 IP アドレス

<DA>　あて先 IP アドレス

<DP>　あて先ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

1.14.10　IPv6 DHCP サーバのプレフィックス配布

【メッセージ】

```
dhcp6sd: Server delegation <prefix>/<prefixlen> to <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 DHCP サーバが IPv6 DHCP クライアントに IPv6 プレフィックスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>
IPv6 DHCP クライアントに配布した IPv6 プレフィックス

<interface>
インタフェース名

1.14.11　アプリケーションフィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <SA> -> <DA>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

アプリケーションフィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name> サーバ機能名

<no> フィルタリング定義番号

破棄を行ったアプリケーションフィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当しないで、デフォルト定義に従って破棄を行った場合、“ default ”と出力されます。

<SA> 送信元アドレス

<DA> あて先アドレス

1.14.12 不正端末アクセスの検出

【メッセージ】

```
protocol: the unidentified terminal was de-
tected: MAC=<mac_address> [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

MAC アドレス認証に失敗したことで、不正端末アクセスを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>

不正端末の MAC アドレス

<no> 検出した LAN インタフェース番号

1.14.13 認証失敗

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is denied on lan<number> [<mac_addr> user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IEEE802.1X 認証により認証が拒否されたことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

<username>

ユーザ名

1.14.14　不正 MAC アドレス検出

【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication illegal MAC address de-
tected <mac_address> [lan <no>]
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ARP 認証機能が登録されていない MAC アドレスを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>

登録されていない MAC アドレス

<no>　lan 定義番号

1.15 IDS のメッセージ

1.15.1 IDS による異常パケット通知

【メッセージ】

```
protocol: curious packet at ids(<name>.<cause>) : <packet>
protocol: curious packet at ids(<name>.<cause>) :
<counter> times in <time> seconds
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IDS によって、異常パケットが検知されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name> 相手ネットワーク名 (remote 定義の場合)、またはインタフェース名 (lan または template 定義の場合)

<cause> 検知理由

IP オプションにかかわる異常パケット通知の場合は IP オプション名が出力されます。

1) IP ヘッダ関連

Unknown IP protocol

protocol フィールドが 134 以上のとき

Land attack

始点 IP アドレスと終点 IP アドレスが同じとき

Short IP header

IP ヘッダの長さが length フィールドの長さよりも短いとき

Malformed IP packet

length フィールドと実際のパケットの長さが違うとき

2) IP オプションヘッダ関連

Malformed IP option

オプションヘッダの構造が不正であるとき

Security IP option

Security and handling restriction header を受信したとき

Loose routing IP option

Loose source routing header を受信したとき

Record route IP option

Record route header を受信したとき

Stream ID IP option

Stream identifier header を受信したとき

Strict routing IP option

Strict source routing header を受信したとき

Timestamp IP option

Internet timestamp header を受信したとき

3) ICMP 関連

ICMP source quench

source quench を受信したとき

ICMP timestamp request

timestamp request を受信したとき

ICMP timestamp reply

timestamp reply を受信したとき

ICMP information request

information request を受信したとき

ICMP information reply

information reply を受信したとき

ICMP address mask request

address mask request を受信したとき

ICMP address mask reply

address mask reply を受信したとき

5) TCP 関連

TCP no bits set

フラグに何もセットされていないとき

TCP SYN and FIN

SYN と FIN が同時にセットされているとき

TCP FIN and no ACK

ACK のない FIN を受信したとき

6) FTP 関連

FTP improper port

PORT や PASV コマンドで指定されるポート番号が 1024～65535 の範囲でないとき

<packet>

異常パケットの内容

フラグメントにかかわる異常パケット通知だけフラグメントに関する情報が出力されます。

FTP にかかわる異常パケット通知だけ FTP ポート番号に関する情報が出力されます。

ICMP にかかわる異常パケット通知だけ ICMP type と ICMP code に関する情報が出力されます。

異常パケットを大量に検知した場合はサマリーモードに切り替え、パケットの詳細情報は出力しません。

出力形式を以下に示します。

```
<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP> ftpport:<ftpport>
<P> <SA> -> <DA> fragment offset:<fragment>
<P> <SA> -> <DA> <icmptype>:<icmpcode>
```

<P> プロトコル種別 (TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号)
TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA> 送信元 IP アドレス

<SP> 送信元ポート番号 (プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

<DA> あて先 IP アドレス

<DP> あて先ポート番号 (プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

<fragment offset>
フラグメントオフセットの量を示します。

<icmptype>
ICMP type

<icmpcode>
ICMP code

<ftp port>
ftp port 番号

<counter>
検知した回数

<time> 検知した期間

1.16　IPsec/IKE のメッセージ

1.16.1　ISAKMP SA ネゴシエーション

【メッセージ】

```
isakmp: not acceptable <etype> mode
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または受け入れられない交換モードを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、自側の設定により決定した交換モードとは異なるモードを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<etype>　交換モード

サポートされていない交換モード

1　Base

受け入れられない交換モード

※自側の設定により決定した交換モードとは異なるモード

2　Identity Protection

4　Aggressive

【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption algorithm <algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な暗号アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、DES_CBC、3DES_CBC、AES_CBC 以外の暗号アルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

暗号アルゴリズム

サポートされていない暗号アルゴリズム

2 IDEA 暗号アルゴリズム

3 Blowfish 暗号アルゴリズム

4 RC5-R16-B64 暗号アルゴリズム

6 CAST 暗号アルゴリズム

不正な暗号アルゴリズム

1～ 7 以外の不定の値

※以下の暗号アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1 DES CBC 暗号アルゴリズム

5 3DES CBC 暗号アルゴリズム

7 AES-CBC 暗号アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: invalid hash algorithm <algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なハッシュアルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、MD5、SHA 以外のハッシュアルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

ハッシュアルゴリズム

サポートされていないハッシュアルゴリズム

3 Tiger ハッシュアルゴリズム
不正なハッシュアルゴリズム

1 ～ 3 以外の不定の値

※以下のハッシュアルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1 MD5 アルゴリズム

2 SHA アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication method <method>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、不正な認証方式を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、共有鍵 (Pre-shared key) 認証以外の認証方式を受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<method>

認証方式

サポートされていない認証方式

2　DSS 署名認証方式

3　RSA 署名認証方式

4　RSA 暗号認証方式

5　改良 RSA 暗号認証方式

不正な認証方式

1 ～ 5 以外の不定の値

※以下の認証方式はサポートされているため出力されることはありません。

1　既知共有鍵認証方式

【メッセージ】

```
isakmp: invalid DH group type <group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なグループタイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されている中で MODP 以外のグループタイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group> グループ記述子

サポートされていないグループタイプ

2 ECP だ円関数グループ

3 EC2N だ円関数グループ

不正な認証方式

1 ～ 3 以外の不定の値

※以下のグループタイプはサポートされているため出力されることはありません。

1 MODP 指数関数グループ

【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, expecting the packet encrypted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信パケットが暗号化されていることを期待していたが、暗号化されていないため、パケットを破棄したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションで、鍵交換後のパケットは暗号化されることを期待するが、暗号化されていないパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: Expecting IP address type in main mode, but <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Main モードで受信した ID ペイロードの IP アドレスタイプが、期待していたタイプでなかったことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションを共有鍵 (Pre-shared key) 認証で行う場合に、ID ペイロードの交換が IPv4 アドレス、IPv6 アドレス以外で行われたときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type> ID タイプ

サポートされていない ID タイプ

1 IPv4 アドレス

2 省略なしドメイン名

3　省略なしユーザ名

4　IPv4 アドレスとネットマスク

5　IPv6 アドレス

6　IPv6 アドレスとネットマスク

7　IPv4 アドレス範囲指定

8　IPv6 アドレス範囲指定

9　証明書対象者の X.501 バイナリ DER エンコーディング

10　証明書対象者の X.509 バイナリ DER エンコーディング

11　独自 ID 情報
不正な ID タイプ
1 ～ 11 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: give up phase1 negotiation. <local> -> <remote>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常、相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できず、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。または、設定ミスによりネゴシエーションパケットが破棄され、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<local>　IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレスまたは自装置識別情報

<remote>
IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレスまたは相手装置識別情報

【メッセージ】

```
isakmp: phase1 information overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで、Phase1 情報が最大数を超えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPsec / IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題によって定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Minor Version.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Minor Version の値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、Minor Version に 0、1 以外の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid RESERVED field.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な RESERVED フィールドの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、RESERVED フィールドに 0 以外の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid number of Transform Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な#of Transforms の値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、#of Transforms 値に Transform ペイロードの個数と異なる値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of SA Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な SA ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、SA ペイロードの次ペイロードタイプに Proposal ペイロード (2)、Transform ペイロード (3) の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of Transform Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Transform ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、Transform ペイロードの次ペイロードタイプに次ペイロードなし (0)、Transform ペイロード (3) 以外の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of the last Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な最終ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、最終ペイロードの次ペイロードタイプに次ペイロードなし (0) でない値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type <type>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

規定されていない不正な次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、次ペイロードタイプに規定されていない不正な値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type> 不正なペイロードタイプ
0 ～ 13 以外の不定の値

1.16.2 IPsec SA ネゴシエーション

【メッセージ】

```
isakmp: invalid transform id=<id> in <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なトランスフォーム ID を受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したトランスフォームペイロードトランスフォーム ID が未サポート、または不正な認証または暗号アルゴリズムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<id> トランスフォーム ID(認証／暗号アルゴリズム)
protocol が ISAKMP のとき
不正なトランスフォーム ID
1 以外の不定の値
※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

1 IKE

protocol が AH のとき
サポートされていないトランスフォーム ID

3 DES 認証アルゴリズム

不正なトランスフォーム ID
1 ～ 3 以外の不定の値
※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2　MD5 認証アルゴリズム

3　SHA 認証アルゴリズム

protocol が ESP のとき
サポートされていないトランスフォーム ID

1　DES IV64 暗号アルゴリズム

4　RC5 暗号アルゴリズム

5　IDEA 暗号アルゴリズム

6　CAST 暗号アルゴリズム

7　Blowfish 暗号アルゴリズム

8　トリプル IDEA 暗号アルゴリズム

9　DES IV32 暗号アルゴリズム

10　RC4 暗号アルゴリズム

不正なトランスフォーム ID
1 ～ 12 以外の不定の値
※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2　DES 暗号アルゴリズム

3　3DES 暗号アルゴリズム

12　AES 暗号アルゴリズム

<protocol>

プロトコル

1　ISAKMP プロトコル

2　認証プロトコル

3　暗号プロトコル

【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption mode=<mode>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なカプセルモードを受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、トンネルモード以外のカプセルモードを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<mode> カプセルモード

1 トンネルモード

2 トランスポートモード

3(または 61443)
UDP カプセリングトンネルモード

4(または 61444)
UDP カプセリングトランスポートモード

※以下のカプセルモードはサポートされているため出力されることはありません

2 トランスポートモード

4(または 61444)
UDP カプセリングトランスポートモード

不正なカプセルモード
上記以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication algorithm=<algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な認証アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、HMAC-MD5,HMAC-SHA1 以外の認証アルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>
認証アルゴリズム
サポートされていない認証アルゴリズム

3 DES MAC 認証アルゴリズム

4 KPDK 認証アルゴリズム

不正な認証アルゴリズム
1 ～ 4 以外の不定の値
※以下の認証アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1 HMAC MD5 認証アルゴリズム

2 HMAC SHA 認証アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: give up phase2 negotiation. <src_addr> -> <dst_addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常や相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できなかった場合や設定ミスによりパケットが破棄されたことによって、ネゴシエーションが失敗した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<src_addr>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレス

<dst_addr>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレス

【メッセージ】

```
isakmp: phase2 information overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションで、Phase2 情報が最大数を超えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPsec / IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題により定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA protocol id mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションプロトコルが、受信した IPsec SA のネゴシエーションと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA encryption algorithm mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の暗号アルゴリズムが、受信した IPsec SA の暗号アルゴリズムと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA encryption algorithm key length mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の暗号アルゴリズムの鍵長が、受信した IPsec SA の暗号アルゴリズムの鍵長と一致しなかったことを示します。
IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA authentication algorithm mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の認証アルゴリズムが、受信した IPsec SA の認証アルゴリズムと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA pfs group mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の PFS 使用時の DH グループが、受信した IPsec SA の DH グループと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

1.16.3　ISAKMP、IPsec 共通

【メッセージ】

```
isakmp: invalid value of DOI 0x<doi>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な DOI の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロードの DOI が IPsec DOI 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<doi>　DOI
00000001 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: invalid situation 0x<situation>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な Situation の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロードの Situation が SIT_IDENTITY_ONLY 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<situation>

situation
サポートされていない Situation

00000002　ネゴシエーション中の SA が、ラベル付けされたセキュリティが必要な環境にあることを示します。

00000004 ネゴシエーション中の SA が、ラベルが付いたインテグリティを必要とする環境にあることを示します。

不正な situation
00000001、00000002、00000004 以外の不定の値
※以下の Situation はサポートされているため出力されることはありません。

00000001 発信元 ID 情報によって SA を確認することを指定します。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid protocol id <id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なプロトコル ID の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したプロポーザルペイロードのプロトコル ID が ISAKMP、AH、ESP 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<id> プロトコル ID
サポートされていないプロトコル ID

4 圧縮プロトコル

不正なプロトコル ID
1 ～ 4 以外の不定の値
※以下のプロトコル ID はサポートされているため出力されることはありません。

1 ISAKMP プロトコル
2 IPsec 認証プロトコル
3 IPsec 暗号プロトコル

【メッセージ】

```
isakmp: invalid life type <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Life タイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されていない Life タイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type>　Life タイプ

不正なプロトコル ID

1、2 以外の不定の値

※以下の Life タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1　単位秒

2　単位キロバイト

【メッセージ】

```
isakmp: invalid attribute type <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な属性タイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたは RFC2409 に定義されていない属性タイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type>　属性タイプ

ISAKMP SA ネゴシエーションのときサポートされていない属性タイプ

8　グループ生成 2 属性タイプ

9　グループ曲線 A 属性タイプ

10　グループ曲線 B 属性タイプ

15　フィールド長属性タイプ

16　グループ順属性タイプ

不正な属性タイプ

1 ～ 15 以外の不定の値

※以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1　暗号アルゴリズム

2　ハッシュアルゴリズム

3　認証方式

4　グループ記述子

5　グループタイプ

6　グループ素数／規約多項式

7　グループ生成 1

11　Life タイプ

12 Life 継続期限

13 prf

14 鍵長

IPsec SA ネゴシエーションのとき
サポートされていない属性タイプ

7 鍵ラウンド属性タイプ

8 圧縮辞書サイズ属性タイプ

9 圧縮プライベート

アルゴリズム
不正な属性タイプ
1 ～ 9 以外の不定の値
※以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1 Life タイプ

2 Life 継続期限

3 グループ記述子

4 カプセルモード

5 認証アルゴリズム

6 鍵長

【メッセージ】

```
isakmp: invalid group description=<group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なグループ記述子を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたは RFC2409 に定義されていないグループ記述子を受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group> グループ記述子
サポートされていないグループ記述子

3 EC2N[2^155] だ円関数グループ

4 EC2N[2^185] だ円関数グループ

不正なグループ記述子
1 ～ 5 以外の不定の値
※以下のグループ記述子はサポートされているため出力されることはありません。

1 768 ビット MODP グループ

2 1024 ビット MODP グループ

5 1536 ビット MODP グループ

【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, received unexpecting payload type <group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待していないペイロードタイプを受信したため、そのパケットを破棄したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションで、受信したパケットに期待していないペイロードが含まれていたときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group>　ペイロードタイプ

0　none ペイロード

1　SA ペイロードタイプ

2　プロポーザルペイロードタイプ

3　トランスフォームペイロードタイプ

4　鍵交換ペイロードタイプ

5　ID ペイロードタイプ

6　証明書ペイロードタイプ

7　証明書要求ペイロードタイプ

8　ハッシュペイロードタイプ

9　署名ペイロードタイプ

10　Nonce ペイロードタイプ

11　通知ペイロードタイプ

12　削除ペイロードタイプ

13　ベンダ ID ペイロードタイプ

20(または 130)
　NAT ディスカバリペイロードタイプ

21(または 131)
　NAT オリジナルアドレスペイロードタイプ

不正なペイロードタイプ
上記以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: received invalid next payload type <receive_type>, expect-
ing <expect_type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待していたペイロードタイプとは異なるペイロードが次ペイロードに指定されていたことを示します。このメッセージはISAKMP SAまたはIPsec SAのネゴシエーションで、自身が受けるパケット構成とは異なる構成のパケットを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<receive_type>

受信した次ペイロードタイプ

0 noneペイロード

1 SAペイロードタイプ

2 プロポーザルペイロードタイプ

3 トランスフォームペイロードタイプ

4 鍵交換ペイロードタイプ

5 IDペイロードタイプ

6 証明書ペイロードタイプ

7 証明書要求ペイロードタイプ

8 ハッシュペイロードタイプ

9 署名ペイロードタイプ

10 Nonceペイロードタイプ

11 通知ペイロードタイプ

12 削除ペイロードタイプ

13 ベンダIDペイロードタイプ

20(または130)

NATディスカバリペイロードタイプ

21(または131)

NATオリジナルアドレスペイロードタイプ

不正なペイロードタイプ

0～13以外の不定の値

<expect_type>

期待していたペイロードタイプ

1 SAペイロードタイプ

8 ハッシュペイロードタイプ

【メッセージ】

```
isakmp: HASH mismatched side=<side> exchange type=<type> status=<status>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したハッシュ値と受信パケットから生成したハッシュ値が一致しないことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション中に、イニシエータまたはレスポンダによって出力されます。イニシエータまたはレスポンダから受信したパケットがデータの破壊や改竄などにより、正常なパケットと判断できなかったことを示します。また、Aggressive 交換では、共有鍵が一致しない場合も出力されます。

【パラメタの意味】

<side>　自側の状態

- **0**　イニシエータ側
- **1**　レスポンダ側

<type>　ISAKMP 交換の種類

- **2**　Identity Protection 交換
- **4**　Aggressive 交換
- **32**　Quick 交換

<status>　ISAKMP 交換での状態

Identity Protection 交換イニシエータのとき

- **7**　3rd メッセージ受信時

Identity Protection 交換レスポンダのとき

- **5**　3rd メッセージ受信時

Aggressive 交換イニシエータのとき

- **3**　1st メッセージ受信時

Aggressive 交換レスポンダのとき

- **3**　2nd メッセージ受信時

Quick 交換イニシエータのとき

- **5**　1st メッセージ受信時

Quick 交換レスポンダのとき

- **1**　1st メッセージ受信時
- **5**　2nd メッセージ受信時

【メッセージ】

```
isakmp: psk mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで共有鍵が一致していない可能性があることを示します。共有鍵が一致していない可能性があるときにレスポンダにより出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for des-cbc encryption.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for 3des-cbc encryption.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の 3des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。3des-cbc 暗号鍵設定時に暗号鍵を 8 バイトごとの 3 つの鍵に分割した際、3 つの鍵のどれかに RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: IPsec extension-range reached maximum.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN または Radius で追加する拡張 IPsec 対象範囲情報が最大値に達したため、IPsec SA が作成できなかったことを示します。
また、動的 VPN または Radius を併用して定義追加を行った場合に定義反映時に拡張 IPsec 対象範囲情報が最大値に達したため作成できなかったことを示します。
拡張 IPsec 対象範囲定義数を見直してください。

1.16.4　IKE セッションの復旧

【メッセージ】

```
icmpwatchd: IKE session watching host is up. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE セッションの監視ホスト、または接続回線が復旧したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.16.5　IKE セッションの障害検出

【メッセージ】

```
icmpwatchd: IKE session watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE セッションの監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.16.6　動的 VPN のメッセージ

【メッセージ】

```
isakmp: The IKE negotiation demand from <user_id> has not received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<user_id>からの IKE ネゴシエーション要求が受信できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換を承諾したユーザ ID

【メッセージ】

```
isakmp: duplicate route: <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN 接続で IKE ネゴシエーションを行うために追加した経路よりも優先度が高い同じ経路がすでに設定されていたことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

追加した経路情報

【メッセージ】

```
protocol: <user_id> was discon-
nected. [tmp<template>.rmt<remote> (<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<user_id>を切断したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換を承諾したユーザ ID

<template>

テンプレート定義番号

<remote>

相手定義番号

<reason>

切断理由

idle timer expired

無通信監視時間満了による切断

manual　手動切断

cannot add route(<route>)

経路追加失敗 (追加できなかった経路)

【メッセージ】

```
isakmp: invalid psk was received. <user_id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な IKE 共有鍵を受信したことを示します。
このメッセージは、動的 VPN 機能で配布された IKE 共有鍵が本装置のサポート範囲を超えた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換中のユーザ ID

【メッセージ】

```
isakmp: psk was not received. <user_id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE 共有鍵が動的 VPN 機能で配布されないことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換中のユーザ ID

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configura-
tion for DVPN.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN 定義に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: in-
valid DVPN client configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報に必要な設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid DVPN client
configuration.(address family of server address contradicts ua)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の動的 VPN サーバとクライアントのアドレスファミリが矛盾しているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid DVPN client
configuration.(address family of tunnel local contradicts global)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリが矛盾しているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same DVPN session
configuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、この ap 定義が利用できないことを示します。

- トンネルアドレスが異なり、同じ動的 VPN クライアント情報を参照する接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。
  remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
  remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
  例：
  remote 0 ap 0 dvpn client 0
  remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
  remote 1 ap 0 dvpn client 0
  remote 1 ap 0 tunnel local 192.168.2.1
  ※ remote 1 が無効
- 参照する動的 VPN クライアント情報が異なり、同じトンネルアドレスの接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。
  remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
  remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
  例：
  remote 0 ap 0 dvpn client 0
  remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
  remote 1 ap 0 dvpn client 1
  remote 1 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
  ※ remote 1 が無効

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

<other_remote>
相手定義番号

<other_ap>
接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or in-
valid DVPN client configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の設定が欠けているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN
client configuration.(address family of server address contradicts ua)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の動的 VPN サーバとクライアントのアドレスファミリが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN
client configuration.(address family of tunnel local contradicts global)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: address family is contradicts,ignore server <count> of tem-
plate <template> dvpn client <number>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのアドレスファミリが矛盾しているため、<number>で示される動的 VPN クライアント情報の<count>で設定されている動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<count> 動的 VPN サーバ定義番号

<template>

テンプレート定義番号

<number>

動的 VPN クライアント定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: same DVPN session config-
uration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

- トンネルアドレスが異なり、同じ動的 VPN クライアント情報を参照する接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。
  remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
  remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
  例：
  remote 0 ap 0 dvpn client 0
  remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
  template 0 dvpn client 0
  template 0 tunnel local 192.168.2.1
  ※ template 0 が無効
- 参照する動的 VPN クライアント情報が異なり、同じトンネルアドレスの接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。
  remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
  remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
  例：
  remote 0 ap 0 dvpn client 0
  remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
  template 0 dvpn client 1
  template 0 tunnel local 192.168.1.1
  ※ template 0 が無効

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: same DVPN session config-
uration in template <other_template>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

- トンネルアドレスが異なり、同じ動的 VPN クライアント情報を参照するテンプレート情報が、異なるテンプレート定義ですでに設定されている。

  template [<number>] dvpn client

  template [<number>] tunnel local

  例：

  template 0 dvpn client 0

  template 0 tunnel local 192.168.1.1

  template 1 dvpn client 0

  template 1 tunnel local 192.168.2.1

  ※ template 1 が無効

- 参照する動的 VPN クライアント情報が異なり、同じトンネルアドレスのテンプレート情報が、異なるテンプレート定義ですでに設定されている。

  template [<number>] dvpn client

  template [<number>] tunnel local

  例：

  template 0 dvpn client 0

  template 0 tunnel local 192.168.1.1

  template 1 dvpn client 1

  template 1 tunnel local 192.168.1.1

  ※ template 1 が無効

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<other_template>

テンプレート定義番号

1.16.7　NATトラバーサル関連システムログ

【メッセージ】

```
isakmp: Vendor ID for NAT traversal which is not supported was received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したNATトラバーサルのベンダIDはサポートされていないことを示します。
このメッセージはISAKMP SAのネゴシエーションデータ受信時に、自身がNATトラバーサルを使用していて、相手から自身がサポートするNATトラバーサル用のベンダIDを1つも受信できなかったときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: There is no vendor ID for NAT traversal.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

NATトラバーサルのベンダIDが受信できなかったことを示します。
このメッセージはISAKMP SAのネゴシエーションデータ受信時に、自身がNATトラバーサルを使用していて、相手からNATトラバーサル用のベンダIDを受信できなかったときに出力されます。

1.17　接続先セッション監視のメッセージ

【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名 (接続先が相手情報設定の場合)
テンプレート名. 接続先識別子 (接続先がテンプレート情報設定の場合)

【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is up. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線の障害が復旧したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名 (接続先が相手情報設定の場合)
テンプレート名. 接続先識別子 (接続先がテンプレート情報設定の場合)

1.18　構成定義関連のメッセージ

1.18.1　ブリッジ/STP 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: cannot use bridge on vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan インタフェースでブリッジを定義したため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。
本メッセージが出力された場合、構成定義を修正後装置をリセットしてください。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: this lan is bound by vlan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan でバインドされたインタフェースでブリッジを定義したため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。
本メッセージが出力された場合、構成定義を修正後装置をリセットしてください。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: two or more lan inter-
faces are included in the same group in IP bridge mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IP をブリッジする設定で複数の lan インタフェースを同じグループに含めたため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。
本メッセージが出力された場合、構成定義を修正後装置をリセットしてください。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable :STP cannot be used except group 0.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ブリッジグループ 0 以外のインタフェースで STP を定義したため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable:STP can-
not be used on vlan interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan インタフェースで STP を定義したため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable: STP cannot be used with BPDU for-
warding mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAC コントロールパケット転送機能により STP のパケットが転送するモードとなっているため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.18.2 IEEE802.1X 認証定義無効

【メッセージ】

```
l2nsm: AAA group ID is not defined [lan<number>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<number>で表示された lan インタフェースで、IEEE802.1X 認証が使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: VLAN and port authentication cannot be de-
fined at same time [lan<number>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証が VLAN 定義された lan 定義で設定されたため、IEEE802.1X 機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: MAC authentication and port authentication can-
not be used at same time [lan<number>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証と MAC アドレス認証機能が同一 LAN インタフェース上で定義されたため、IEEE802.1X 機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: MAC authentication and WPA/WPA2 mode on wireless LAN can-
not be used at same time [lan<number>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

WPA / WPA2-PSK を使用する無線 LAN をバインドしている lan 定義に MAC アドレス認証機能が定義されたため、MAC アドレス認証機能が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot set eapol forwarding mode(port authentica-
tion mode was disabled
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

EAPOL フレームをブリッジ転送するモードとなっているため、IEEE802.1X 機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: IEEE 802.1X authentication can-
not be used on switch ports [lan<number>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチポートを使用するインタフェースで IEEE802.1X 認証機能が有効とされたために、IEEE802.1X 認証機能が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: IEEE802.1X is needed for WPA/WPA2 on wireless LAN [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

WPA または WPA2 を使用する無線 LAN をバインドしている lan 定義のため、IEEE802.1X 機能の設定が必須であることを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: IEEE802.1X cannot be used on wireless LAN ex-
cept WPA/WPA2 mode [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

WPA または WPA2 を使用していない無線 LAN をバインドしている lan 定義のため、IEEE802.1X 機能が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

1.18.3　lan ポート バックアップ定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> backup is not available: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、この lan 定義で lan ポート バックアップ機能が利用できないことを示します。

- 拡張モジュールが装着されていない、禁止された組み合わせの拡張モジュールを装着しているなどが原因で、lan backup 命令で指定された物理回線が使用できない。
- lan backup 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> backup is not available: this line is already bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

lan backup 命令で指定された物理回線が、別の lan 定義によってすでに使用されているために、この lan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

1.18.4 lan 自動復旧モード 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> recovery is not available: cannot define recov-
ery mode on vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan インタフェースで recovery を定義したため、この lan で自動復旧モード の設定を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

1.18.5 MDI 自動検出定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is set to MDI: auto MDI cannot be used on no-auto ne-
gotiation mode
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

lan mode の設定が auto でないインタフェースに対して MDI の自動検出が指定されたために、MDI として動作することを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: sw <no> is set to MDI-X: auto MDI cannot be used on no-auto ne-
gotiation mode
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

switch port mode の設定が auto でないインタフェースに対して MDI の自動検出が指定されたために、MDI-X として動作することを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　スイッチポート番号

1.18.6　lan 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- 拡張モジュールが装着されていない、禁止された組み合わせの拡張モジュールを装着しているなどが原因で、lan bind 命令で指定された物理回線が使用できない。
- lan bind 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: this line is already bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

lan bind 命令で指定された物理回線が、別の lan 定義によって、すでに使用されているために、この lan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: wlan<number> is already bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

lan bind 命令で指定された wlan 定義が、別の lan 定義によって、すでに使用されているために、この lan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

<number>

wlan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: no line to bind from vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどれかの理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定された物理回線が存在しない。
- vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: cannot bind vlan to vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定した先が vlan インタフェースである。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: dupli-
cate vid and bind with lan <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- 同じ物理インタフェースを使用する複数の vlan インタフェースで、同じ VLAN ID が定義されている。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

<other_no>

lan 定義番号

1.18.7 wan 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどれかの理由により、wan 定義が利用できないことを示します。

- 拡張モジュールが装着されていない、禁止された組み合わせの拡張モジュールを装着しているなどが原因で、wan bind 命令で指定された物理回線が使用できない。
- wan bind 命令で指定された物理回線で利用できない回線種別が指定されている。
- BRI4 ポート拡張モジュールで、フレームリレーが指定されている。

【パラメタの意味】

<no> wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: this line is already bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

wan bind 命令によって指定された物理回線が、別の wan 定義によってすでに使用されているために、この wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no> wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: no sufficient resource
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPP 利用セッション数が上限を超えているため、その wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: invalid line speed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

利用できない回線速度が指定されているため、この wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: number of vpcs exceed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VP 数が最大定義数を超えているために、この wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: vpi out of range
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定された VPI 値が使用可能範囲を超えているために、この wan 定義が利用できないことを示します。
ATM25M 拡張モジュール L2、ATM155M 拡張モジュール L2 の場合は 0～127 の範囲で指定します。

【パラメタの意味】

<no>　　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: vp rate violation
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VP 速度が正しく設定されていないために、この wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: duplicate vpi
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定された VPI 値の重複により、この wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　wan 定義番号

1.18.8　接続先定義無効

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定された wan 定義または lan 定義が存在しないために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: this line is al-
ready bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定された wan 回線が、別の ap 定義によってすでに使用されているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: duplicate DLCI
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定された DLCI 値の重複により、この ap 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: illegal tunnel end-
point address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

tunnel endpoint address の設定が正しくないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <re-
mote> ap <ap> has same tunnel endpoint address as re-
mote <other_remote> ap <other_ap>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

tunnel endpoint address が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same IPsec/IKE config-
uration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec/IKE 通信用として定義した接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
　　相手定義番号

<ap>　　接続先定義番号

<other_remote>
　　相手定義番号

<other_ap>
　　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same IPsec range con-
figuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用 (自動鍵設定) として定義した IPsec 対象範囲が、異なる ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。
この syslog は、1 つの IKE SA で複数の IPsec SA を利用する設定で表示されます。

【パラメタの意味】

<remote>
　　相手定義番号

<ap>　　接続先定義番号

<other_remote>
　　相手定義番号

<other_ap>
　　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same IPsec manual con-
figuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用 (手動鍵設定) として定義した IPsec SA が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

<other_remote>
相手定義番号

<other_ap>
接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configura-
tion for IPsec.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 定義に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configura-
tion for IKE.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE 定義に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: reference remote
<other_remote> ap <other_ap> IKE configuration is invalid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先の IKE 情報が有効でないため、この ap 定義が利用できないことを示します。
この syslog は、1 つの IKE SA で複数の IPsec SA を利用する設定で表示されます。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: unavailable se-
rial <no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定されたシリアルポートの定義が無効になっているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

<no> serial 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: vci not defined
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VCI 値が設定されていないため、この ap 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: duplicate vci
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定された VCI 値の重複により、この ap 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: vc rate violation
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VC 速度が正しく設定されていないために、この ap 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: num-
ber of vccs exceeded
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ATM の VC 数がシステム最大値を超えているため、この ap 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: vci out of range
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定された VCI 値が使用範囲を超えているため、この ap 定義が使用できないことを示します。
ATM155M 拡張モジュール L2 の場合は 32～2047、ATM25M 拡張モジュール H1 および ATM155M 拡張モジュール H1 の場合は 32～1023 の範囲で指定します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid service type
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定されたサービスタイプが運用上無効になるため、この ap 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: can’t be bundled to MP
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどれかにより、論理リンクを構成できないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

- 専用線、ISDN 回線以外の回線種別の wan 定義が、remote ap datalink bind 命令で指定された。
- 専用線以外の回線定義を bundle 先に指定された。
- 無効な定義を bundle 先に指定された。
- bundle 指定定義を bundle 先に指定された。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

1.18.9　アド レス重複

【メッセージ】

```
enabled: lan <no> has same network/address as lan <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<no>と<other_no> の LAN の IP ネットワーク、または IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　lan 定義番号

<other_no>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
enabled: remote <no> has same remote address as remote <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<no>と<other_no> の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　相手定義番号

<other_no>

相手定義番号

【メッセージ】

```
enabled: remote <no> has same remote address as loopback
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

loopback に設定されたアドレスと、<no>の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

【メッセージ】

```
enabled: <interface> has same ip6 prefix as <other_interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>と<other_interface>の IPv6 プレフィックスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<other_interface>

インタフェース名

1.18.10　相手ネットワークまたは接続先定義無効

【メッセージ】

```
init: remote/ap number is out of range.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手定義番号または接続先定義番号が指定範囲を超えているか、接続先定義が本装置全体の定義可能数を超えているため、範囲外の相手定義／接続先定義は無効であることを示します。
本メッセージは本装置の起動／再起動時に出力されます。また、構成定義関連のエラー詳細はコンソールに出力されます。

1.18.11　NAT 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> NAT is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

NAT 初期化時にメモリ枯渇になって NAT の初期化が成功しないで、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> NAT is unused: lack of memory. Initial-
ization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

NAT 初期化時にメモリ枯渇になって NAT の初期化が成功しないで、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

1.18.12　IP フィルタ定義無効

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip filter is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IP フィルタ初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、IP フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no> rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 filter is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 フィルタ初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、IPv6 フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no> rmt インタフェース番号

1.18.13 TOS/Traffic Class 値書き換え定義無効

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip tos is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

TOS 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、TOS 値書き換えが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no> rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 trafficclass is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 Traffic Class 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、IPv6 Traffic Class 値書き換えが無効な状態になったことを示します。
メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>　　rmt インタフェース番号

1.18.14　Ingress ポリシールーティング定義無効

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip in-policy is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

Ingress ポリシールーティング初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、Ingress ポリシールーティングが無効な状態になったことを示します。
メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>　　rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 in-policy is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 Ingress ポリシールーティング初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、IPv6 Ingress ポリシールーティングが無効な状態になったことを示します。
メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no> rmt インタフェース番号

1.18.15 UPnP 関連の定義矛盾

【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP external interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する外部インタフェースがありません。UPnP は動作しますが、定義にエラーがあることが通知されます。NAT を使用する lan 定義または remote 定義がない場合に出力されます。

【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP internal interface. UPnP is not available.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する内部インタフェースがありません。UPnP は動作しません。NAT を使用しない lan 定義がない場合に出力されます。

1.18.16 IPv6 DHCP 関連の定義矛盾

【メッセージ】

```
dhcp6cd: remote <no> is not initialized, because there is no op-
tion to request.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバに要求するオプションがないため、IPv6 DHCP クライアントを利用しないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

【メッセージ】

```
dhcp6cd: remote <no> is not initialized, because maximum of number is al-
ready started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP クライアントが利用できる総数にすでに達しているため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

【メッセージ】

```
dhcp6sd: remote <no> is not initialized, because there is no informa-
tion to distribute.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP クライアントに配布する情報がないため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

1.18.17　template 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not avail-
able :wan <no> is not configured.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バインド先の wan が定義されていないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<no> wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not avail-
able :wan <no> line is not supported.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バインド先の wan の回線種別テンプレート着信に対応していないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<no> wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not avail-
able :wan <no> is not acceptable.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バインド先の wan が着信禁止になっているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<no>　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :this line is al-
ready bound other template.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

template datalink bind 命令で指定された回線が別のテンプレート定義によってすでに使用されているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :no pooled interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

テンプレート着信に使用するインタフェース定義がないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :pooled interface is al-
ready configured on remote.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

テンプレート用に予約したインタフェースに該当する remote 定義がすでに設定されているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: unsup-
ported datalink type by the combined function.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

template combine use 命令で指定された機能ではサポートしていない回線種別のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: same IPsec tunnel end-
point address in template <other_template>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用 (AAA を利用) として定義した IPsec トンネルアドレスが、異なるテンプレート定義ですでに設定されているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<other_template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or in-
valid IPsec configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 定義に必要な情報の設定不足、または設定不正のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or in-
valid IKE configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE 定義に必要な情報の設定不足、または設定不正のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: illegal tunnel end-
point address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

tunnel endpoint address の設定が正しくないため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or in-
valid DVPN configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN 定義に必要な情報の設定不足、または設定不正のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: address fam-
ily of server address contradicts ua.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバとクライアントのアドレスアドレスファミリが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: address fam-
ily of global contradicts tunnel local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

1.18.18　動的 VPN サーバ定義無効

【メッセージ】

```
protocol: address family is contradicts,ignore server <count> of re-
mote <remote> ap <ap> dvpn client <number>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのアドレスファミリが矛盾しているため、<number>で示される動的 VPN クライアント情報の<count>で設定されている動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<count> 動的 VPN サーバ定義番号

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

<number>

動的 VPN クライアント定義番号

【メッセージ】

```
protocol: address family is contradicts,ignore server <count> of tem-
plate <template>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのアドレスファミリが矛盾しているため、<count>で設定されている動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<count> 動的 VPN サーバ定義番号

<template>

テンプレート定義番号

1.18.19 スイッチ定義無効

【メッセージ】

```
protocol: cannot find switch device [index=<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチデバイスが実装されていないためにスイッチ定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<no> スイッチ定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan1 port is bound directly by lan <no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチ定義が有効である状態で lan 定義が LAN1 ポートをバインドしていることを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> duplicate binding for switch device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチを直接バインドする lan 定義が複数存在していることを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

1.18.20　スタティック経路の優先度矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradic-
tory. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

優先度が 0 の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。
同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度 0 の経路を含むことはできません。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.18.21 スタティック経路の ECMP 数オーバ

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of ECMP routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路の追加時に、該当経路の ECMP 数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.18.22 ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the metric is contradic-
tory. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メトリックの異なる経路を ECMP 経路として登録しようとしたため、あらたな経路を破棄したことを示します。
同じあて先に複数の経路を ECMP 経路として登録する場合、メトリックが同じである必要があります。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.18.23　スタティック ARP 無効

【メッセージ】

```
nsm: This static ARP entry became invalid. <dst> of <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定されたインタフェースに IPv4 アドレスがない、または、インタフェースアドレスの範囲外となるあて先 IP アドレスが指定されているため、スタティック ARP エントリが無効な状態になったことを示します。DHCP クライアントが有効なインタフェース上では、このメッセージは出力されません。

【パラメタの意味】

<dst>　あて先 IP アドレス

<interface>

インタフェース名

1.18.24　フルルート定義無効

【メッセージ】

```
bgpd: full-route is disable.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

フルルートを使用できる条件を満たしていないため、フルルート定義が無効となったことを示します。このメッセージは、Si-R570 の場合だけに出力されます。

1.18.25　IPv6 スタティック経路の優先度矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradic-
tory. <prefix/prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

優先度が 0 の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度 0 の経路を含むことはできません。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.18.26 IPv6 スタティック経路の ECMP 不可

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of ECMP routes has reached maximum. <pre-
fix/prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

イコールコストとなる経路がすでに存在しているため、新たに追加しようとしたスタティック経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.18.27 LDP の IPv4 Transport Address の設定失敗

【メッセージ】

```
ldpd: ipv4_trans_addr not found: LDP on interface <if-
name> is not available
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 Transport Address の設定が異常 (装置に存在しないアドレスを指定) のため、LDP のインタフェース設定に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<ifname>

インタフェース名

1.18.28　マルチキャストのメッセージ

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (too many interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェース数の上限を超えたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　動作しているプロトコル

pimdmd　PIM-DM

pimsmd　PIM-SM

mstaticd　マルチキャスト・スタティックルーティング

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (different protocol)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ほかのインタフェースで指定されたマルチキャスト・ルーティングプロトコルと異なるプロトコルが指定されたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name> 動作しているプロトコル

pimdmd PIM-DM

pimsmd PIM-SM

mstaticd マルチキャスト・スタティックルーティング

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (unnumbered interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IP アドレスが設定されていないインタフェースのため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name> 動作しているプロトコル

pimdmd PIM-DM

pimsmd PIM-SM

mstaticd マルチキャスト・スタティックルーティング

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
pimsmd: Invalid Cand-RP address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスが不正のため、RP として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmd: Cand-RP address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、RP として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmd: Invalid Cand-BSR address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスが不正のため、BSR として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmd: Cand-BSR address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、BSR として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
mstaticd: multicast ipv4 static route <count> is unavailable(include in-
valid interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マルチキャスト・スタティックルーティング定義に不正なインタフェースが含まれるため、登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<count> マルチキャスト・スタティックルーティング定義番号

1.18.29 VRID 重複設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <interface> vrid<vrid> [<address>] is not initial-
ized. this vrid is already used
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VRID がすでに装置内で有効となっているため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid> 無効となった VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

1.18.30 仮想ルータの IP アドレスインタフェースサブネット外設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp virtual router IP address out of interface subnet. <inter-
face> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースのサブネット外であることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>　無効となった VRID

<address>

サブネット外である仮想ルータの IP アドレス

1.18.31　仮想ルータの IP アドレスインタフェース同一アドレス設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp same invalid virtual router IP address as real IP ad-
dress was set as backup. <interface> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップ設定である VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースの実 IP アドレスと同じであるため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>　無効となった VRID

<address>

実インタフェースと同じである仮想ルータの IP アドレス

1.18.32　AAA グループ ID 定義異常

【メッセージ】

```
dhcpd: AAA group ID is not defined [lan <no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

DHCP MAC アドレスチェック機能で使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<no>　lan 定義番号

1.18.33　不当な SNMP エージェント アド レスの設定

【メッセージ】

```
<component>: illegal SNMP agent address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の IP アド レスとして割り当てられていない IP アド レスが SNMP エージェントアド レスとして定義されています。そのため、SNMP エージェントおよび TRAP 機能では、自装置の IP アド レスを使用します。SNMP マネージャとは正常に通信できない場合があります。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- snmpd

1.18.34　RADIUS 機能の設定無効 (他 RADIUS サーバ定義)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: aaa <group_id> radius service is not available: an-
other aaa group is already configured as the radius server.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ほかの AAA グループで、RADIUS サーバとして使用することが設定されているため、指定された AAA グループの RADIUS 機能が無効となることを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

1.18.35　RADIUS 機能の設定無効 (他 RADIUS クライアント 定義)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: aaa <group_id> radius service is not available: an-
other aaa group is already configured as the radius client.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ほかの AAA グループで、RADIUS クライアントとして使用することが設定されているため、指定された AAA グループの RADIUS 機能が無効となることを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

1.18.36　AAA グループ ID 定義異常

【メッセージ】

```
protocol: AAA group ID for ARP authentication is not defined [lan <no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ARP 認証機能で使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

1.19 ACL 関連のメッセージ

本章に記載されている<config>(ACL 参照定義) に表示される定義内容を以下に示します。

<config> IP フィルタ定義

- lan <number> ip filter <count>
- lan <number> ip6 filter <count>
- remote <number> ip filter <count>
- remote <number> ip6 filter <count>
- template <number> ip filter <count>
- template <number> ip6 filter <count>

TOS / Traffic Class 書き換え定義

- lan <number> ip tos <count>
- lan <number> ip6 trafficclass <count>
- remote <number> ip tos <count>
- remote <number> ip6 trafficclass <count>
- template <number> ip tos <count>
- template <number> ip6 trafficclass <count>

帯域制御 (WFQ) 定義

- lan <number> ip priority <count>
- lan <number> ip6 priority <count>
- remote <number> ip priority <count>
- remote <number> ip6 priority <count>
- template <number> ip priority <count>
- template <number> ip6 priority <count>

CLP 値設定の定義

- remote <number> ip clp <count>
- remote <number> ip6 clp <count>

動的 VPN 定義

- remote <number> ip dvpn <count>
- remote <number> ip6 dvpn <count>

EXP 書き換え定義

- remote <number> ip exp <count>
- remote <number> ip6 exp <count>

Ingress ポリシールーティング定義

- lan <number> ip in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>

- lan <number> ip6 in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>
- remote <number> ip in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>
- remote <number> ip6 in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>
- template <number> ip in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>
- template <number> ip6 in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>

MAC フィルタ定義

- lan <number> bridge filter <count>
- remote <number> bridge filter <count>

無線 LAN MAC フィルタ定義

- wlan <number> filter <count>

<number>

lan、remote、template または無線 lan 定義番号

<count>　各定義の優先順位

<policy-group_number>

ポリシーグループ番号

<pattern_count>

ポリシーグループパターン定義番号

1.19.1　ACL 定義矛盾 (MAC を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> mac is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、MAC に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>　ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.19.2 ACL 定義矛盾 (IP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> ip is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.19.3 ACL 定義矛盾 (IPv6 を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> ip6 is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IPv6 に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.19.4　ACL 定義矛盾 (TCP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> tcp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、TCP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>　ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.19.5　ACL 定義矛盾 (UDP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> udp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、UDP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>　ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.19.6 ACL 定義矛盾 (ICMP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> icmp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、ICMP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.19.7 ACL 定義矛盾 (ACL 定義存在せず)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> doesn't exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義が存在しないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ACL 参照定義

<acl_count>

存在しない ACL 定義番号

1.19.8　ACL 定義矛盾 (必要な定義が存在しないために無効)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義で必要な定義がないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>　ACL 参照定義

<acl_count>

無効として扱う ACL 定義番号

1.20 ポリシーグループ関連のメッセージ

本章に記載されている<config>(ポリシーグループ参照定義) に表示される定義内容を以下に示します。

<config> Ingress ポリシールーティング定義

- lan <number> ip in-policy <count>
- lan <number> ip6 in-policy <count>
- remote <number> ip in-policy <count>
- remote <number> ip6 in-policy <count>
- template <number> ip in-policy <count>
- template <number> ip6 in-policy <count>

<number>

lan、remote、または template 定義番号

<count> 各定義の優先順位

1.20.1 ポリシーグループ定義矛盾 (必須定義不足)

【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> <parame-
tor> doesn’t exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<policy-group_number>のポリシーグループの必須定義に不足があり、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ポリシーグループ参照定義

<policy-group_number>

ポリシーグループ定義番号

<parametor>

存在しないポリシーグループ必須定義

- pattern
- interface

IPv4 定義コマンド

- nexthop(interface が lan の場合だけ)

IPv6 定義コマンド

- nexthop6(interface が lan の場合だけ)

1.20.2　ポリシーグループ定義矛盾 (ポリシーグループ定義存在せず)

【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> doesn’t exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<policy-group_number>のポリシーグループ定義が存在しないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>　ポリシーグループ参照定義

<policy-group_number>

存在しないポリシーグループ定義番号

1.20.3　ポリシーグループ定義矛盾 (nexthop 無効)

【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> nex-
thop is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<policy-group_number>のポリシーグループ定義に定義矛盾があり、nexthop に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ポリシーグループ参照定義

<policy-group_number>

ポリシーグループ定義番号

1.20.4 ポリシーグループ定義矛盾 (nexthop6 無効)

【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> nex-
thop6 is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<policy-group_number>のポリシーグループ定義に定義矛盾があり、nexthop6 に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ポリシーグループ参照定義

<policy-group_number>

ポリシーグループ定義番号

1.20.5 ポリシーグループセッション監視メッセージ

【メッセージ】

```
icmpwatchd: policy-group watching host is down. <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Ingress ポリシールーティングセッション監視の監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　policy-group ポリシーグループ番号

【メッセージ】

```
icmpwatchd: policy-route watching host is up. <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Ingress ポリシールーティングセッション監視の監視ホスト、または接続回線が復旧したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　policy-group ポリシーグループ番号

1.21 ftpd のメッセージ

1.21.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
ftpd: login <user> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.21.2 ログイン失敗 (認証エラー)

【メッセージ】

```
ftpd: failed login <user> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.21.3 ファイル蓄積完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積 (クライアントからの put) により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

上書きされたファイル名

1.21.4　ファイル回収完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収 (クライアントからの get) により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

読み出されたファイル名

1.21.5　ログイン終了

【メッセージ】

```
ftpd: exit <user> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でのログインを終了した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.22 admin コマンドのメッセージ

1.22.1 admin 成功

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication succeeded
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドでパスワード認証に成功し、正常に管理者クラスに移行できた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name> admin コマンドを実行したプログラム

telexec telnet で admin コマンドを実行した

sshexec ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec コンソールで admin コマンドを実行した

1.22.2 admin 失敗 (認証エラー)

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドでパスワードが違うために管理者クラスに移行できなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name> admin コマンドを実行したプログラム

telexec telnet で admin コマンドを実行した

sshexec ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec コンソールで admin コマンドを実行した

1.22.3　admin 終了

【メッセージ】

```
<name>: admin: exit
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで管理者クラスに移行していた状態から一般ユーザクラスに復帰した場合に表示されます。

【パラメタの意味】

<name>　admin コマンドを実行したプログラム

telexec　telnet で admin コマンドを実行した

sshexec　ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec　コンソールで admin コマンドを実行した

1.23 DHCP クライアントのメッセージ

1.23.1 IP アドレス獲得成功

【メッセージ】

```
dhcpd: Client received DHCPACK [<IP address>] [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

DHCP サーバから DHCPACK を受信し、正常に IP アドレスを受け取ったことを示します。

【パラメタの意味】

<IP address>

DHCP サーバから割り当てられた IP アドレス

<no> 受信 LAN 定義番号

1.23.2 リース更新成功

【メッセージ】

```
dhcpd: DHCPACK contains different 'your' IP address. reconfig-
ure to new address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新で DHCP サーバから DHCPACK を受信したが、現在使用中の IP アドレスと異なるアドレスが割り当てられたため新しいアドレスに再構成し直します。

1.23.3 リース更新失敗 1

【メッセージ】

```
dhcpd: Received DHCPNAK(RENEWING). lan<no> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新中 (RENEWING 状態) に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

【パラメタの意味】

<no>　　受信 LAN 定義番号

1.23.4　リース更新失敗 2

【メッセージ】

```
dhcpd: Received DHCPNAK(REBINDING). lan<no> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新中 (REBINDING 状態) に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

【パラメタの意味】

<no>　　受信 LAN 定義番号

1.23.5　リース期間満了

【メッセージ】

```
dhcpc: The lease time expired. [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース期間が満了したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　受信 LAN 定義番号

1.24 IPv6 DHCP クライアントのメッセージ

1.24.1 IPv6 プレフィックス獲得成功

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Received Reply <prefix>/<prefixlen> <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから Reply を受信し、正常に IPv6 プレフィックスを受け取ったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 DHCP サーバから割り当てられた IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

1.24.2 リース更新失敗 1

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Renewing failure. <interface> go to REBIND state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新 (RENEW) に失敗したため、REBIND 状態に遷移します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.24.3 リース更新失敗 2

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Rebinding failure. <interface> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新 (REBIND) に失敗したため、INIT 状態に遷移します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.24.4　IPv6 プレフィックス割り当ての設定誤り

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Configuration error for IPv6 prefix assignment. <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 プレフィックスを割り当てのための設定に誤りがあることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.25 ProxyDNS のメッセージ

1.25.1 DNS プロキシの問い合わせパケット

【メッセージ】

```
proxydns: QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr> to <remote>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信契機となった DNS の問い合わせパケットの内容を示します。

【パラメタの意味】

<type> 問い合わせタイプ

<type>	番号	説明
“A”	1	host address
“NS”	2	authoritative server
“CNAME”	5	canonical name
“SOA”	6	start of authority zone
“MB”	7	mailbox domain name
“MG”	8	mail group member
“MR”	9	mail rename name
“NULL”	10	null resource record
“WKS”	11	well known service
“PTR”	12	domain name pointer
“HINFO”	13	host information
“MINFO”	14	mailbox information
“MX”	15	mail routing information
“TXT”	16	text strings
“AAAA”	28	IP6 Address
“SRV”	33	Server Selection
“ANY”	255	wildcard match
“Type[番号]”		上記以外

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

<remote>

問い合わせ先ネットワーク名

1.25.2 エラー検知によるパケット破棄

【メッセージ】

```
proxydns: ERROR: record type <type>, class <class>, from <ad-
dress> QNAME [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

不正と思われる type や class を持つ DNS 要求を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<type>　DNS 要求パケットの Type の値

<class>　DNS 要求パケットの Class の値

<address>

DNS 要求発行元の IP アドレス

<name>　DNS 要求を行った名前

1.26 SNMP のメッセージ

1.26.1 SNMP 認証失敗

【メッセージ】

```
snmpd: authentication failed. from <address> [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

許可のない SNMP ホストからのアクセスがあったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

SNMP 認証失敗の原因となった IP アドレス

<name> SNMP 認証に使用されたコミュニティ名 (SNMPv1/SNMPv2c 時)
またはユーザ名 (SNMPv3 時)

1.27　VRRP のメッセージ

1.27.1　VRRP グループ開始

【メッセージ】

```
nsm: vrrp group is started. <interface> vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループが動作を開始したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>　本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

1.27.2　マスタルータ／バックアップルータ／イニシャル切り替わり

【メッセージ】

```
nsm: vrrp state is changed into the <state> state. <inter-
face> vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP 状態が<state> で示された状態に変更されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>　本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<state>　変更後の状態

master マスタルータ

backup バックアップルータ

Initialize イニシャル

1.27.3 インタフェースアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] No.<trigger_no> interface <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>、<vrid> および<trigger_no> が示す番号で定義されたインタフェーストリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state> 変更後の状態

up トリガに設定されたインタフェースがアップし、トリガが不適用になりました。

down トリガに設定されたインタフェースがダウンし、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid> 本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_if>

トリガの対象となるインタフェース名

1.27.4 ルートアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] No.<trigger_no> route <target_route> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger_no> が示す番号で定義されたルートトリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>　変更後の状態

up　トリガに設定された経路が復旧し、トリガが不適用になりました。

down　トリガに設定された経路が損失し、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid>　本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_route>

トリガの対象となる経路

<target_if>

トリガの対象となる経路のパケット送出インタフェース名

1.27.5　ノードアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] No.<trigger_no> node <target_node> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger_no> が示す番号で定義されたノードトリガが発生し、トリガの状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>　変更後の状態

up　トリガに設定されたノードがアップし、トリガが不適用になりました。

down　トリガに設定されたノードがダウンし、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid> 本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_node>

トリガの対象となるノードの IPv4 アドレス

<target_if>

トリガに設定された ICMP ECHO パケット送出インタフェース名

1.27.6 マスタルータダウン検出

【メッセージ】

```
nsm: vrrp master router down detection. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] #<code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループのマスタルータのダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid> ダウンしたマスタルータの VRID

<address>

異常を検出したマスタルータの実 IP アドレス
(XXX.XXX.XXX.XXX)

<code> 検出した異常の種類

01 マスタルータ放棄
(優先度 0 の VRRP-AD 受信)

02 VRRP-AD 受信タイムアウト

1.27.7 受信 VRRP-AD TTL 異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet include invalid TTL. from <interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに TTL が 255 でない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス
(XXX.XXX.XXX.XXX)

1.27.8　受信 VRRP-AD 認証タイプ異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication method mismatched. from <inter-
face> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証方法の一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス
(XXX.XXX.XXX.XXX)

1.27.9　受信 VRRP-AD 認証パスワード 異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication data check failed. from <inter-
face> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証パスワード の一致しない VRRP パケット を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アド レス

(XXX.XXX.XXX.XXX)

1.27.10 VRRP 状態変化に対するアクション適用失敗

【メッセージ】

```
nsm: vrrp action <mode> failed. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] No.<action_no> <state> <action> <target> : <msg>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<action_no> が示す番号で定義された VRRP 状態変化に対するアクションの適用に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<mode> アクション適用 / 非適用

On アクション適用動作を示します。

Off アクション非適用動作を示します。

<interface>

インタフェース名

<vrid> 本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<action_no>

アクション定義番号

<state> アクションを適用する状態

<action> 適用するアクション

<target> アクションの対象

lan [<lan_number>]

lan を示します。

remote [<remote_number> [ap <ap_number> [id <id> <password>]]]

相手ネットワークや接続先を示します。

access-point <ap_name>

接続先を示します。

template interface <interface_name>

template 接続を示します。

template <template_number> [uid <user_id>]

template 接続を示します。

<msg>　<action>が失敗した理由

1.28　スケジュールのメッセージ

1.28.1　電話番号変更予約の実施

【メッセージ】

```
scheduled: action: dial number convert [<dial1>] to [<dial2>]
scheduled: [<no>] <config>: dial number [<dial3>] convert
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スケジュール機能による電話番号変更が実施されたことを示します。

【パラメタの意味】

<dial1>　電話番号変更予約情報の変更前電話番号

<dial2>　電話番号変更予約情報の変更後電話番号

<no>　処理通番

<config>　対象となる構成定義情報の名称
<name>は相手ネットワーク名、接続先名、相手識別名、グループ名またはユーザ ID
<n>は数字を示します (詳細は各コマンドの説明を参照)。
wan.<n>.isdn.number.<n>
wan.<n>.isdn.numbersend
remote.<name>.ap.<name>.dial.<n>.number
remote.<name>.ap.<name>.called.number
aaa.<name>.user.<name>.called.number

<dial3>　変更する電話番号

1.28.2　電話番号変更の失敗

【メッセージ】

```
scheduled: config size over, convert failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スケジュール機能による電話番号変更を実施したが、構成定義格納サイズを超えたため、変更に失敗したことを示します。

1.29　ブリッジ／ STP のメッセージ

1.29.1　構成変更を検出

【メッセージ】

```
protocol: Topology changed [<root>:<priority>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ブリッジネットワークの構成の変化を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<root>　ルートブリッジの MAC アドレス

<priority>

ルートブリッジの優先度

1.29.2　上位ブリッジのダウンを検出

【メッセージ】

```
protocol: STP aging timer expired [<root>:<interface>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の上位のブリッジ装置から定期的に送信される構成情報 BPDU が規定時間内に受信できないことにより上位ブリッジ装置のダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<root>　ルートブリッジの MAC アドレス

<interface>

ダウンを検出したブリッジ装置が接続されるインタフェース名

1.30 IEEE802.1X 認証のメッセージ

1.30.1 IEEE802.1X 認証初期化失敗

【メッセージ】

```
authd: open_supplicant: Error opening socket (<errno>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証用のソケットの生成に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<errno>　エラー番号

1.30.2 認証成功

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is accepted on lan<number> [<mac_addr> user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証による認証が成功したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

<username>

ユーザ名

1.30.3　ユーザログオフ

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is logged-off on lan<number> due to user re-
quest [<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザからの要求によりログオフしたことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<username>

ユーザ名

1.30.4　ユーザの強制ログオフ

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is logged-off on lan<number> due to link error or re-
configuration [<username>]
l2nsm: Supplicant is logged-off on lan<number> due to link error or re-
configuration [<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンク異常または構成定義変更によりユーザを強制的にログオフにしたことを示します。
また、無線 LAN で利用している場合は端末が切断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<username>

ユーザ名

1.30.5　メモリ不足による課金開始または課金終了の失敗

【メッセージ】

```
authd: accounting <request> request failed for <user-
name>/<mac_addr>(lan<number>) on aaa <aaa_gid>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ不足により課金開始または課金終了要求の送信に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<request>

課金要求の種別

start　課金開始要求

stop　課金終了要求

<number>

lan 定義番号

<username>

ユーザ名

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

<aaa_gid>

AAA グループ ID

1.30.6　メモリ不足による認証失敗

【メッセージ】

```
authd: authentication request failed for <user-
name>/<mac_addr>(lan<number>) on aaa <aaa_gid>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ不足により認証が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<username>

ユーザ名

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

<aaa_gid>

AAA グループ ID

1.30.7　認証サーバの通知メッセージ異常

【メッセージ】

```
authd: EAP packet cannot be found within RADIUS/AAA re-
sponse [lan<number>:mac=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバ側の設定などの要因により、認証サーバから通知された応答に EAP パケットが含まれていなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

1.30.8　認証再試行

【メッセージ】

```
authd: authentication is restarted on lan<number> [cause=<cause>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<cause>で示された要因により認証処理を再試行したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<cause> 認証再試行の要因を示します。表示される要因には以下のものがあります。

- EAPOL-start
  認証途中の EAPOL-start メッセージ受信
- EAPOL-logoff
  認証途中の EAPOL-logoff メッセージ受信
- supplicant timeout
  認証途中のサプリカントからのメッセージ受信タイムアウト発生

1.30.9 最大 ID 長オーバ

【メッセージ】

```
authd: Identity Response is ig-
nored on lan<number> (too long user name) [user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末 (Supplicant) から通知されたユーザ名がシステムで扱える最大長を超えたためメッセージが無視されたことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<username>

ユーザ名

1.30.10 ポート アクセス制御失敗

【メッセージ】

```
authd: port cannot be opened [lan<number>,user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証が成功したユーザのポート開放処理が異常終了したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<username>

ユーザ名

1.31　コンソールのメッセージ

【メッセージ】

```
logon: login <user> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

【メッセージ】

```
logon: failed login <user> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールでパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

【メッセージ】

```
logon: exit <user> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで exit した場合に出力されます。consoleinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

1.31.1　telnet デーモンのメッセージ

【メッセージ】

```
telnetd: login <user> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

telnet 接続元アドレス

【メッセージ】

```
telnetd: failed login <user> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet でパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

telnet 接続元アドレス

【メッセージ】

```
telnetd: exit <user> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンド の設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>

telnet 接続元アド レス

1.32　ssh 関連のメッセージ

1.32.1　ssh デーモンのメッセージ

【メッセージ】

```
sshd: generating public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を開始した場合に出力されます。

【メッセージ】

```
sshd: generated public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を完了した場合に出力されます。
本メッセージ出力後に ssh 接続できるようになります。

【メッセージ】

```
sshd: failed login <user> on ssh/sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh または sftp でパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.32.2 ssh ログインデーモンのメッセージ

【メッセージ】

```
sshlogin: login <user> on ssh from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>
クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sshlogin: failed login <user> on ssh from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>
クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sshlogin: exit <user> on ssh from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.32.3　sftp デーモンのメッセージ

【メッセージ】

```
sftpd: login <user> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sftpd: failed login <user> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積 (クライアントからの put) により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

上書きされたファイル名

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収 (クライアントからの get) により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

読み出されたファイル名

【メッセージ】

```
sftpd: exit <user> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でのログインを終了した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.33　モデム関連のメッセージ

1.33.1　モデム初期化失敗

【メッセージ】

```
comctl: fail to initialize MODEM by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

起動または enable によってモデムの初期化に失敗したことを示します。このメッセージはモデム接続可能な装置の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<reason>

初期化契機

enable　enable

1.34　PC カード 関連共通のメッセージ

1.34.1　PC カード 挿入

【メッセージ】

```
<name>: [SLOT<slot>] card is inserted. <card>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PC カード が挿入されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　PC カード 挿入を検出したプログラム

cmodemctl
データ通信カード 制御機能

protocol　プロトコル制御

<slot>　スロット番号

<card>　PC カード の製品メーカー名／製品名情報

1.34.2　PC カード 抜去

【メッセージ】

```
<name>: [SLOT<slot>] card is ejected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PC カード が抜去されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　PC カード 抜去を検出したプログラム

cmodemctl
データ通信カード 制御機能

protocol　プロトコル制御

<slot>　スロット番号

1.35　データ通信カード 関連のメッセージ

1.35.1　データ通信カード 初期化失敗

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card>
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

データ通信カード の初期化に失敗したことを示します。
データ通信カード の故障か、PUK ロック状態 (PIN ロックを解除できない状態) です。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<card>　PC カード の製品メーカー名／製品名情報

1.35.2　データ通信カード 初期化失敗 (構成定義 PIN 照合なし、データ通信カード PIN 照合あり)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initial-
ize card. <card> (PIN code is NULL)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

構成定義では PIN 照合なしであるのに、データ通信カード 側は PIN 照合ありになっているため、データ通信カード の初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<card>　PC カード の製品メーカー名／製品名情報

1.35.3　データ通信カード 初期化失敗 (PIN 照合失敗)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card> (incor-
rect password)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

構成定義上の PIN コード とデータ通信カード 上の PIN コード の照合に失敗したため、データ通信カード の初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<card>　PC カード の製品メーカー名／製品名情報

1.35.4　データ通信カード 初期化失敗 (PIN ロック発生)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card> (PUK required)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

構成定義上の PIN コード とデータ通信カード 上の PIN コード の照合に失敗し、PIN ロックが発生したため、データ通信カード の初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<card>　PC カード の製品メーカー名／製品名情報

1.35.5　データ通信カード 初期化失敗 (PIN ロック状態)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initial-
ize card. <card> (PIN Locked:PUK required)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

PIN ロック状態のデータ通信カードを初期化しようとしたため、データ通信カードの初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<card> PC カードの製品メーカー名／製品名情報

1.35.6 データ通信カード 初期化失敗 (PUK ロック状態)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card> (SIM failure)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

PUK ロック状態 (完全ロック) のデータ通信カードを初期化しようとしたため、データ通信カードの初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<card> PC カードの製品メーカー名／製品名情報

1.35.7 PIN 制御コマンド 実行エラー (enable, disable, change)(PIN 照合失敗)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PIN code error. <card> (incorrect password)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された PIN コードが、データ通信カードに設定された値と異っていたため、PIN 照合に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<card>　PC カードの製品メーカー名／製品名情報

1.35.8　PIN 制御コマンド 実行エラー (enable, disable, change)(PIN ロック発生)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PIN code error. <card> (PUK required)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された PIN コードが、データ通信カードに設定された値と異っていたため、PIN 照合に失敗し、PIN ロックが発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<card>　PC カードの製品メーカー名／製品名情報

1.35.9　PIN 制御コマンド 実行エラー (unlock)(PUK 入力エラー)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PUK code error. <card> (incorrect password)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された PUK コードが、データ通信カードに設定された値と異っていたため、PIN ロック解除に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<card>　PC カードの製品メーカー名／製品名情報

1.35.10　PIN 制御コマンド 実行エラー (unlock)(PUK ロック発生)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PUK code error. <card> (SIM failure)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどれかを示します。

- データ通信カードに USIM が未実装
- データ通信カードに実装されている USIM 異常
- 指定された PUK と、データ通信カードの PUK コード不一致により、データ USIM がロックされた。またはロックされている。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<card>　PC カードの製品メーカー名／製品名情報

1.35.11　構成定義 PIN 照合あり、データ通信カード PIN 照合なしで運用中

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PIN collation of card is disabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

構成定義上は PIN 照合ありになっているが、データ通信カードが PIN 照合なしの設定となっていたため、構成定義上の PIN 照合設定が無視されたことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

1.35.12　構成定義 PIN 照合あり、データ通信カード PIN 未サポート

【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PIN code is ignored. (PIN unsupported card)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

構成定義上は PIN コードが設定されているが、データ通信カードが PIN 未サポートカードであるため、構成定義上の PIN コードが無視されることを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　　スロット番号

1.36　無線 LAN カード 関連のメッセージ

1.36.1　無線 LAN 設定での誤りを検知

【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> ssid is empty
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SSID が未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<number>

wlan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> channel <channel> is not committed: in-
valid <mode> channel
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された channel が、現在の通信モードでは利用できないことを示します。
<channel>に any が指定されたものとして動作します。

【パラメタの意味】

<number>

wlan 定義番号

<channel>

チャネル番号

<mode>　通信モード

【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> wep mode off is not commit-
ted: auth shared need wep
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証モードに shared(共通鍵認証) が指定されている場合に、必須となる WEP が無効となっていることを示します。
<mode>に on が指定されたものとして動作します。

【パラメタの意味】

<number>

wlan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> wep mode <mode> is not commit-
ted: auth wpa is selected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証モードに WPA が指定されている場合に、不必要な WEP が有効になっていることを示します。
<mode>に off が指定されたものとして動作します。

【パラメタの意味】

<number>

wlan 定義番号

<mode>　WEP 動作モード

【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> wep key <index> selected by send key is empty
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

WEP が利用されている場合に、送信キーに指定される WEP キーが未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<number>

wlan 定義番号

<index> WEP キー認識番号

【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> wpa psk is empty
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

WPA で事前共有キー (PSK) 認証が指定されいてる場合に、事前共有キーが未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<number>

wlan 定義番号

1.36.2 無線 LAN アクセスポイントの同期

【メッセージ】

```
protocol: wlan on slot<slot>: synchro-
nized with <bssid> ssid "<ssid>" channel <ch> start <rate>Mbps
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線 LAN アクセスポイントが同期してビーコン送信を開始したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<bssid> 無線 LAN アクセスポイントの BSSID(MAC アドレス)

<ssid> 無線 LAN アクセスポイントの SSID

<ch> 同期したチャネル

<rate> ビーコン送信開始時の転送レート

1.36.3　無線 LAN 端末の接続

【メッセージ】

```
protocol: wlan on slot<slot>: [<mac>] station associ-
ated at aid <aid>: <info1>, <info2> [,<info3>]
protocol: wlan on slot<slot>: [<mac>] station reassoci-
ated at aid <aid>: <info1>, <info2> [,<info3>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線 LAN アクセスポイントに無線 LAN 端末が接続または再接続したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<mac>　無線 LAN 端末の MAC アドレス

<aid>　無線 LAN 端末に割り当てたアソシエーション ID

<info1>　無線 LAN 端末との接続情報 1(プリアンブル)

- short preamble
- long preamble

<info2>　無線 LAN 端末との接続情報 2(スロットタイム)

- short slot time
- long slot time

<info3>　無線 LAN 端末との接続情報 3(プロテクション) ※有効時のみ表示

- protection

1.36.4　無線 LAN 端末の切断

【メッセージ】

```
protocol: wlan on slot<slot>: [<mac>] station with aid <aid> leaves
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末が切断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<mac> 無線 LAN 端末の MAC アドレス

<aid> 無線 LAN 端末に割り当てたアソシエーション ID

1.36.5 WPA 関連メッセージ

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: MIC ERROR was detected. STA=[<mac>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信パケットの復号化時に TKIP MIC エラーを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<mac> MIC エラーを検出した STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: MIC ERROR was detected twice in 60sec-
onds. STA=[<mac>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TKIP MIC エラーを 60 秒に 2 回以上検出したことを示します。
無線 LAN インタフェースは一定時間の間、保留状態となり、保留時間 (60 秒) が終わるまで端末接続が行えない状態となります。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<mac> MIC エラーを検出した STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received invalid EAPOL-Key: <rea-
son>. STA=<mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した EAPOL-Key フレームで異常を検出したため、破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<reason>

エラーと認識した原因を示します。以下のどちらかが表示されます。

- Key Ack set
  ACK フラグがセットされています。
- Key MIC not set
  MIC データが付与されていません。

<mac>　EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key with in-
valid MIC.  STA=<mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した EAPOL-Key フレームで MIC 異常を検出したため、破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<mac>　EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key Request with in-
valid MIC. STA=<mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した EAPOL-Key フレームで MIC 異常を検出したため、破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<mac> EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key Error Request (STA de-
tected Michael MIC failure). STA=<mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MIC エラーにより STA からエラー通知を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<mac> EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key Request with re-
played counter. STA=<mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待するシーケンス番号より小さいシーケンス番号が指定された EAPOL-Key フレームを受信したため、受信 EAPOL-Key フレームを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<mac> シーケンス番号異常の EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key <mstype> with unex-
pected replay counter. STA=<mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待しないシーケンス番号が指定された EAPOL-Key フレームを受信したため、受信 EAPOL-Key フレームを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<mstype>

メッセージ種別。以下のどれかが表示されます。

- Request
- 2/2 Group
- 2/4 Pairwise
- 4/4 Pairwise

<mac>　シーケンス番号異常の EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: cannot hand-
shake by retry over for PTK in <status>. STA=<mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PTK 鍵交換処理中にリトライオーバにより鍵交換が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<status>　鍵交換処理でのリトライオーバを検出した時点の内部状態を示します。以下のどちらかの状態が表示されます。

- PTKSTART
  PTK 交換 (4-way handshake) の最初の応答受信待ち
- PTKINITNEGOTIATING
  PTK 交換 (4-way handshake) の 3 つ目の応答受信待ち

<mac>　STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: no PSK configured for the STA <mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PSK が設定されていないために鍵交換が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<mac> STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key msg 2/4 in in-
valid state (<state>) - dropped STA=<mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

4 way handshake の 2 番目のメッセージを予期しない状態で受信したため、破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<slot> スロット番号

<state> 受信時の状態変数値

<mac> STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>:WPA IE from (Re)AssocReq did not match with
msg 2/4 STA=<mac>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STA が本装置と接続したときのプロトコルパラメタと異なるパラメタが設定された EAPOL-Key を受信したため、破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<slot>　スロット番号

<mac>　STA の MAC アドレス

【メッセージ】

```
authd: Supplicant cannot be accepted without PMK informa-
tion [<mac> user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバから鍵情報が通知されなかったため、認証が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac>　STA の MAC アドレス

<username>

ユーザ ID

1.37 動的 VPN の情報交換クライアント 関連のメッセージ

1.37.1 ユーザ ID 登録

【メッセージ】

```
infoexcd: <user_id> registered to <server>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバにユーザ ID が登録できたことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録したユーザ ID

<server> 登録した動的 VPN サーバアド レス

1.37.2 ユーザ ID 削除

【メッセージ】

```
infoexcd: <user_id> deleted from <server>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバからユーザ ID を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

削除したユーザ ID

<server> 削除した動的 VPN サーバアド レス

1.37.3 情報交換セッション確立

【メッセージ】

```
infoexcd: The session of <from> to <to> was established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションを確立したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

1.37.4　情報交換セッション切断

【メッセージ】

```
infoexcd: The session of <from> to <to> was disconnected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションを切断したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

1.37.5　情報交換セッションの確立失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: The session from <from> to <to> failed : <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの確立に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

<reason>

タイムアウト

timeout

セッション数オーバフロー

session overflow

同じセッションがすでに存在する

busy

情報交換バージョン不一致

version

交換情報のエンコードタイプが一致していません。

一時的な失敗

temporary

1.37.6 情報交換セッションの更新失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: Refreshing the session from <from> to <to> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの更新に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

1.37.7 情報交換失敗応答受信

【メッセージ】

```
infoexcd: The response of the failure to <method> was re-
ceived from <from> : <response_code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換リクエストに対して失敗応答を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<method>

失敗した要求種別

REGISTER

ユーザ ID 登録要求

INVITE　情報交換セッション確立要求

CANCEL

情報交換セッション確立中止要求

BYE　情報交換セッション切断要求

<from>　失敗応答の送信元ユーザ ID、または動的 VPN サーバの IP アドレス

<response_code>

失敗理由を示す応答コードとメッセージ

400 Bad Request

不正なリクエスト

404 Not Found

ユーザ ID が存在しない場合など

408 Request Timeout

リクエストがタイマアウトした

422 Session Interval Too Small

セッション間隔が短すぎる

480 Temporarily Unavailable

発側ユーザ ID が登録されていない場合など

481 Call/Transaction Does Not Exist

情報交換セッションが存在しない

486 Busy Here

情報交換セッション数オーバや同一の情報交換セッションがすでに確立されている場合など

487 Request Terminated

情報交換セッションの確立を中止した

500 Server Internal Error

情報交換セッション数オーバなどのサーバ内部エラー

503 Service Unavailable

動的 VPN サーバが利用できない

603 Decline

template 着信で使用する rmt インタフェースの空きがない場合など

1.37.8　情報交換セッション開始メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: The Authentication of INVITE mes-
sage from <from> to <to> failed on <server>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバで情報交換セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

<server>　認証に失敗した動的 VPN サーバアドレス

1.37.9　情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: The Authentication of REGISTER mes-
sage for <user_id> failed on <server>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバで情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録要求したユーザ ID

<server>　認証に失敗した動的 VPN サーバアドレス

1.37.10　動的 VPN サーバアドレスの解決失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: Resolving of <fqdn> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのホスト名解決に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<fqdn>　動的 VPN サーバのホスト名

1.37.11　情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクト した

【メッセージ】

```
infoexcd: The INVITE message from <from> to <to> was redirected to <uri>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクト したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

<uri>　リダイレクト先 URI

1.37.12　情報交換セッションの開始を辞退した

【メッセージ】

```
infoexcd: The INVITE message from <from> to <to> was declined: <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着側で情報交換セッションの開始を辞退したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

<reason>

情報交換バージョン不一致

version

交換情報のエンコードタイプが一致していません。

1.38　動的 VPN サーバ関連のメッセージ

1.38.1　ユーザ ID の登録

【メッセージ】

```
dvpnsd: <user_id> was registered by <client>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザ ID を登録したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録したユーザ ID

<client>　情報交換クライアントの IP アドレス

1.38.2　ユーザ ID の削除

【メッセージ】

```
dvpnsd: <user_id> was deleted by <client>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザ ID を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

削除したユーザ ID

<client>　情報交換クライアントの IP アドレス

1.38.3　情報交換セッションの確立

【メッセージ】

```
dvpnsd: The session from <from> to <to> was established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションが確立したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

1.38.4 情報交換セッションの切断

【メッセージ】

```
dvpnsd: The session from <from> to <to> was disconnected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションが切断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

1.38.5 情報交換セッションの満了

【メッセージ】

```
dvpnsd: The session from <from> to <to> expired.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの有効期限が満了したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

1.38.6　情報交換セッション開始メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
dvpnsd: The Authentication of INVITE mes-
sage from <from> to <to> by <client> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換クライアントからの情報交換セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

<client>　情報交換クライアントの IP アドレス

1.38.7　情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
dvpnsd: The Authentication of REGISTER mes-
sage for <user_id> by <client> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換クライアントからの情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録要求されたユーザ ID

<client>　情報交換クライアントの IP アドレス

1.39 SIP-SIP ゲートウェイ機能のメッセージ

1.39.1 SIP-SIP ゲートウェイ機能無効

【メッセージ】

```
sipgw: SIP-SIP gateway is not available: lack or invalid configuration
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

設定不足、または設定不正のために SIP-SIP ゲートウェイ機能が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

なし

1.39.2 登録成功

【メッセージ】

```
sipgw: <username>@<domain> registered
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Registrar サーバにユーザが登録できたことを示します。

【パラメタの意味】

<username>

登録ユーザ名

<domain>

SIP ドメイン名

1.39.3 登録失敗

【メッセージ】

```
sipgw: <username>@<domain> registration failed : <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザ登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<username>

登録ユーザ名

<domain>

SIP ドメイン名

<reason>

失敗理由

timeout　トランザクションがタイムアウトした

auth rejected

認証失敗

other(<code>)

Registrar サーバからその他のエラーレスポンスを受信

1.39.4　登録削除

【メッセージ】

```
sipgw: <username>@<domain> deleted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Registrar サーバからユーザが削除されたことを示します。

【パラメタの意味】

<username>

登録ユーザ名

<domain>

SIP ドメイン名

1.39.5　接続

【メッセージ】

```
sipgw: connected to <to>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外線発信に成功したことを示します。

【パラメタの意味】

<to>　着ユーザ名

【メッセージ】

```
sipgw: connected from <from>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外線からの着信に成功したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　発ユーザ名

1.39.6　切断

【メッセージ】

```
sipgw: disconnected call for <username> : time=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

通話が切断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<username>

相手ユーザ名

<time>　通話時間 (dddd.hh:mm:ss の形式)

1.39.7　接続失敗

【メッセージ】

```
sipgw: callout to <to> failed : <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外線発信に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<to>　着ユーザ名

<reason>

失敗理由

timeout　トランザクションがタイムアウトした

busy　話中

auth rejected

認証失敗

limit over

チャネル数超過

internal　内部的なエラー

other(<code>)

相手端末からその他のエラーレスポンスを受信

【メッセージ】

```
sipgw: callin from <from> failed : <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外線からの着信に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 発ユーザ名

<reason>

失敗理由

timeout トランザクションがタイムアウトした

busy 話中

limit over

チャネル数超過

internal 内部的なエラー

other(<code>)

内線端末からその他のエラーレスポンスを受信

1.40　AAA/RADIUS のメッセージ

1.40.1　RADIUS アカウンティング情報の表示

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: <id>(<session_id>) received service for
<session_time> seconds, received <input_packets>
packets(<input_bytes> bytes), sent <output_packets>
packets(<out_bytes> bytes).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティング情報を示します。

【パラメタの意味】

<id>　User_Name
アクセスユーザ名

<session_id>
Acct-Session-Id
同一セッションを示す一意の識別子

<session_time>
Acct-Session-Time
セッション開始から終了までの時間

<input_packets>
Acct-Input-Packets
RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したパケット数

<input_bytes>
Acct-Input-Octets
RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したデータ量

<output_packets>
Acct-Output-Packets
RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したパケット数

<output_bytes>
Acct-Output-Octets
RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したデータ量

1.40.2 RADIUS 認証サーバ未応答

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから認証結果が通知されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.3 RADIUS アカウンティングサーバ未応答 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング開始の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.4　RADIUS アカウンティングサーバ未応答 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング終了の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.5　RADIUS 認証同時要求数オーバ

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.6 RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.7 RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.8　RADIUS 認証構成定義無効

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.9　RADIUS アカウンティング構成定義無効 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.10 RADIUS アカウンティング構成定義無効 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.11 RADIUS 認証メモリ枯渇

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、メモリが枯渇したため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.12　RADIUS アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.13　RADIUS アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.14 RADIUS 認証共有鍵不一致

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: bad authentication secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.15 RADIUS アカウンティング共有鍵不一致 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: bad accounting secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.16　RADIUS アカウンティング共有鍵不一致 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: bad accounting secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.17　ローカル認証 DB アカウンティング情報の表示

【メッセージ】

```
aaad: <id>(<session_id>) received service for
<session_time> seconds,received <input_packets>
packets(<input_bytes> bytes), sent
<output_packets>packets(<out_bytes> bytes).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ローカル認証 DB のアカウンティング情報を示します。

【パラメタの意味】

<id>　User_Name

アクセスユーザ名

<session_id>

Acct-Session-Id

同一セッションを示す一意の識別子

<session_time>

Acct-Session-Time

セッション開始から終了までの時間

<input_packets>

Acct-Input-Packets

RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したパケット数

<input_bytes>

Acct-Input-Octets

RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したデータ量

<output_packets>

Acct-Output-Packets

RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したパケット数

<output_bytes>

Acct-Output-Octets

RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したデータ量

1.40.18 Access-Challenge の受信

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: Access-Challenge not support (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントが本装置で未サポートの Access-Challenge を受信したため、アクセスユーザの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

1.40.19 Message-Authenticator 不適性

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: received Message-Authenticator have unmatched value (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RADIUS パケットの Message-Authenticator が一致しなかったため、受信パケットが改ざんされているものとして、破棄したことを意味します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

1.40.20　アトリビュート 作成失敗 (送信バッファオーバフロー)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: attribute <attr_type> create failed. send buffer over-
flow for aaa group <group_id> user id <id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS サーバからクライアントに送信するアクセスユーザのユーザ情報が大きすぎるため、送信パケットを破棄したことを意味します。RADIUS サーバは 4096 バイト以上の認証結果をクライアントに通知できないため、アクセスユーザのユーザ情報に多数の経路情報を定義した場合などに、上記理由により送信パケットが破棄されることがあります。

【パラメタの意味】

<attr_type>

オーバフローしたアトリビュートの属性値

VSA:で始まる値のときはベンダ固有アトリビュートでオーバフローしたこと意味します。

<group_id>

AAA グループ ID

<id>　　アクセスユーザ名

1.40.21　RADIUS 認証取り消し

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: authentication canceled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、認証依頼元が認証要求を取り消したことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.40.22 RADIUS 認証サーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <num-
ber> on aaa <group_id> dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

<number>

認証サーバ定義番号

1.40.23 RADIUS 認証サーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <num-
ber> on aaa <group_id> alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

<number>

認証サーバ定義番号

1.40.24　RADIUS アカウンティングサーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group_id> dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

<number>

アカウンティングサーバ定義番号

1.40.25　RADIUS アカウンティングサーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group_id> alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

<number>

アカウンティングサーバ定義番号

1.40.26　認証処理失敗 (メモリ枯渇)

【メッセージ】

```
aaad: cannot process due to no resource [mac=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ不足のため、認証要求が無視されたことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_addr>

認証要求が無視された端末の MAC アドレス

1.40.27　未サポート EAP オプション受信

【メッセージ】

```
aaad: received option is not supported [option=<code>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した EAP に未サポートのオプションが含まれていたことを示します。

【パラメタの意味】

<code>　未サポートのオプションコード

1.40.28　未サポートのパケット受信

【メッセージ】

```
aaad: received unrecognized code packet [<code>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

未サポートパケットコードの EAP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<code>　未サポートのパケットコード

1.40.29　パケットシーケンスエラー検出

【メッセージ】

```
aaad: unexpectable message received [type=<type>, host=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケットシーケンス異常を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<type>　パケットタイプ

<mac_addr>

端末 (Supplicant) の MAC アドレス

1.40.30　メモリ枯渇による認証失敗

【メッセージ】

```
aaad: cannot allocate memory to indicate about authentication result
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ枯渇により認証処理が失敗したことを示します。

1.40.31　認証アルゴリズム不一致

【メッセージ】

```
aaad: desired algorithm by supplicant is not supported [de-
sired type=<algorithm>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末 (Supplicant) から本装置がサポートしていない認証アルゴリズムを要求されたために、認証が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<algorithm>

端末 (Supplicant) 側が要求したアルゴリズムコード

1.40.32　端末 MAC アドレス収集限界

【メッセージ】

```
aaad: mac collect table full
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

最大数まで端末 MAC アドレスを収集したため、これ以上の新しい端末 MAC アドレスの収集はできないことを示します。

【パラメタの意味】

なし

1.41　その他のメッセージ

1.41.1　ISDN 課金情報のクリア

【メッセージ】

```
<name>:wan <no> ISDN(data) totalcharge=<value>yen totaltime=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISDN 課金情報をクリアしたことを示し、統計情報、課金情報を通知します。

【パラメタの意味】

<name>　課金情報をクリアしたプログラム

scheduled
スケジュール機能によりクリア

telexec　telnet からのコマンドによるクリア

sshexec　ssh からのコマンドによるクリア

cmdexec　コンソールからのコマンドによるクリア

httpd　ブラウザによるクリア

<no>　wan 番号

<value>　総通話料金 (円単位)

<time>　総接続時間 (dddd.hh:mm:ss の形式)

1.41.2　モデム接続の課金情報のクリア

【メッセージ】

```
<name>: MODEM(data) totaltime=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

モデム接続の課金情報 (総接続時間) をクリアしたことを示します。

【パラメタの意味】

<name> 課金情報をクリアしたプログラム

scheduled
スケジュール機能によりクリア

telexec telnet からのコマンドによるクリア

sshexec ssh からのコマンドによるクリア

cmdexec コンソールからのコマンドによるクリア

httpd ブラウザによるクリア

<time> 総接続時間 (dddd.hh:mm:ss の形式)

1.41.3 データ通信カード 接続の課金情報のクリア

【メッセージ】

```
<name>: cardmodem account cleared.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

データ通信カード 接続の課金情報 (接続時間、パケット数など) をクリアしたことを示します。

【パラメタの意味】

<name> 課金情報をクリアしたプログラム

scheduled
スケジュール機能によりクリア

telexec telnet からのコマンドによるクリア

sshexec ssh からのコマンドによるクリア

cmdexec コンソールからのコマンドによるクリア

httpd ブラウザによるクリア

1.41.4 システムリセット エラー

【メッセージ】

```
<name>: ERROR: system reset busy.
```

【プライオリティ】

LOG_ERROR

【意味】

リセット処理を実施しようとしたが、ファーム更新中、構成定義の保存中、他スレッドでリセット処理中などにより、リセット処理ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　リセットを実施したプログラム

scheduled
　スケジュールによる電話番号変更後のリセット

telexec　telnet からのコマンドによるリセット

sshexec　ssh からのコマンドによるリセット

1.41.5　動的定義反映実行

【メッセージ】

```
enabled: system configuration restarted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的定義反映が実行されたことを示します。

1.41.6　重複メッセージの省略

【メッセージ】

```
same message repeated <num> times
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同じメッセージが繰り返されたので表示を省略したことを示します。

【パラメタの意味】

<num>　繰り返された回数

1.41.7　USB デバイス接続

【メッセージ】

```
usbd: USB Device Detected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB デバイスが接続されたことを示します。

1.41.8　USB デバイス切断

【メッセージ】

```
usbd: USB Device Disconnect Completed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB デバイスが切断されたことを示します。

1.41.9　USB VBUS 過電流発生

【メッセージ】

```
usbd: USB VBUS Over Current Occured.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB で、VBUS 過電流が発生したことを示します。

1.42　ISDN 理由表示番号一覧

正常イベント クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
01	＃1	欠番
02	＃2	指定中継網へのルートなし
03	＃3	相手へのルートなし
06	＃6	チャネル利用不可
07	＃7	呼が設定済のチャネルへ着呼
10	＃16	正常切断
11	＃17	着ユーザビジー
12	＃18	着ユーザレスポンスなし
13	＃19	相手ユーザ呼出中／応答なし
14	＃20	加入者不在
15	＃21	通信拒否
16	＃22	相手加入者番号変更
1A	＃26	選択されなかったユーザの切断復旧
1B	＃27	着側インタフェース起動不可
1C	＃28	無効番号フォーマット(不完全番号)
1D	＃29	ファシリティ拒否
1E	＃30	状態問い合わせへの応答
1F	＃31	その他の正常クラス

リソース不可クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
22	＃34	利用可回線／チャネルなし
26	＃38	網故障
29	＃41	一時的故障
2A	＃42	交換機輻輳
2B	＃43	アクセス情報廃棄
2C	＃44	要求回線／チャネル利用不可
2F	＃47	その他のリソース使用不可クラス

サービス利用不可クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
31	＃49	サービス品質(QOS)利用不可
32	＃50	要求ファシリティ未契約
39	＃57	伝達能力不許可
3A	＃58	現在利用不可伝達能力
3F	＃63	その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス

サービス未提供クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
41	＃65	未提供伝達能力指定
42	＃66	未提供チャネル種別指定
45	＃69	未提供ファシリティ要求
46	＃70	制限ディジタル情報転送能力だけ可能
4F	＃79	その他のサービスまたはオプションの未提供クラス

無効メッセージクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
51	＃81	無効呼番号使用
52	＃82	無効チャネル番号使用
53	＃83	指定された中断呼識別番号未使用
54	＃84	中断呼識別番号使用中
55	＃85	中断呼なし
56	＃86	指定中断呼切断復旧済
57	＃87	ユーザは CUGメンバでない
58	＃88	端末属性不一致
5B	＃91	無効中継網選択
5F	＃95	その他の無効メッセージクラス

手順誤りクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
60	＃96	必須情報要素不足
61	＃97	メッセージ種別未定義、または未提供
62	＃98	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ別未定義または未提供
63	＃99	情報要素未定義
64	＃100	情報要素内容無効
65	＃101	呼状態とメッセージ不一致
66	＃102	タイマ満了による回復
6F	＃111	その他の手順誤りクラス

インタワーキングクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
7F	＃127	その他のインタワーキングクラス

Si-R シリーズ　メッセージ集

P3NK-2582-02Z0

発行日　　2007 年 11 月

発行責任　　富士通株式会社